

市町村名 久米島町

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (1-① 海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証事業), 担当部課名 (産業振興課), 事業実施(予定)年度 (平成24~29年度), and 該当箇所 (沖縄21世紀ビジョン基本計画, 沖縄振興基本方針).

事業内容 久米島の地域資源である海洋深層水の冷熱利用により、既に確立された夏場の野菜栽培技術の商用化に向けた実証実験を行う。

実施方法 ■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ( )

Table with 7 columns: 24年度, 24年度(繰越), 25年度, 25年度(繰越), 26年度. Rows include: 予算額・執行額 (予算の状況), B. 執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%)(B/A), and 予算の状況の説明.

Table with 5 columns: H26活動目標(指標), 26年度, 27年度, 28年度, 29年度. Rows include: 実証施設の整備, 実証実験, and 達成状況説明.

Table with 7 columns: H26成果目標(指標), 基準値(年度), 26年度, 27年度, 28年度, 目標値(年度). Rows include: 10アール当たりの収穫量把握, 生産コスト等の課題抽出, and 進捗状況説明.

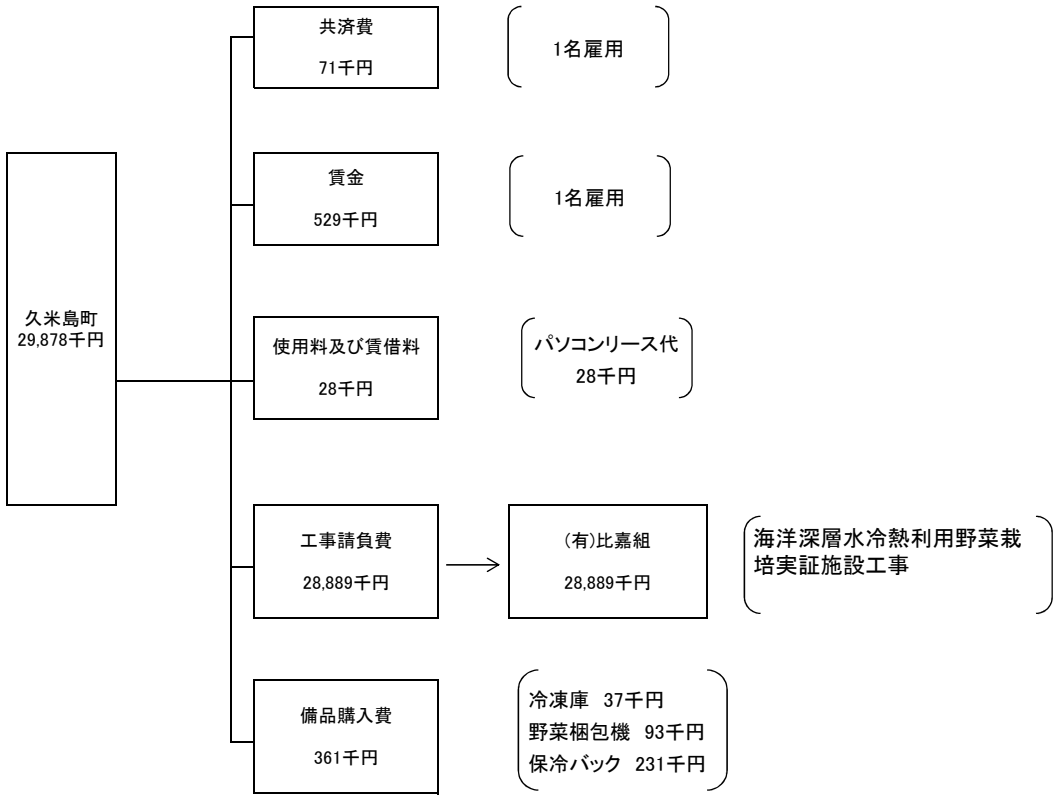
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷熱利用野菜栽培ハウスの整備と作業員確保の遅れにより、実証実験の開始が遅れたが通年を通してのデータが必要なため現在は、作業員2名体制で成果目標の達成に向けて取り組みを行っている。</li> <li>今後、施設の運営委託先を公募し、早急に実用化に向けて取り組みを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通した実証実験により、10アール当たりの収穫量を把握し、生産コスト等の課題を解決し実用化に繋げる必要がある。</li> <li>広報誌、FMラジオ等を活用し運営委託先を確保する必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

冷熱利用野菜栽培ハウスでの実証実験で得られた、課題を検証し平成28年度から商用化に向け取り組む必要がある。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
29,878	29,878	23,903	5,975	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。 ○不用額はなく適正な規模であった。 ○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 久米島町

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名: 1-② 漁港施設機能強化事業
担当部課名: 産業振興課
事業実施(予定)年度: 平成25~27年度
沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所: 第3章-3-(12)-イ 農林水産業の振興
沖縄振興基本方針該当箇所: III-1-(6)

事業内容: 本町の基幹産業である水産業の振興を図るため、主要3漁港にセルフ式給油施設POSシステム導入及び主要漁港の一つである大田漁港に漁船巻揚機(ウインチ)を設置する団体へ支援を行う。

実施方法: 直接実施 委託 補助 負担 その他

Table with 7 columns: 25年度, 26年度, 27年度, 27年度, 28年度. Rows include: 予算額・執行額 (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額, (d)繰越額, A.計, B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%), 予算の状況の説明

Table for activity goals. Columns: H26活動目標(指標), 25年度, 26年度, 27年度, 28年度. Rows: 給油施設POSシステムの導入, 漁船巻き上げ機の導入. Includes a '達成状況説明' section.

Table for achievement goals. Columns: H26成果目標(指標), 基準値(年度), 26年度, 27年度, 28年度, 目標値(年度). Rows: 給油施設POSシステム整備率, 巻き上げ機整備率. Includes a '進捗状況説明' section.

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の主要漁港である真泊・儀間・鳥島の3漁港にセルフ式給油施設POSシステムを整備したことにより、迅速に給油できる環境を整備することができた。</li> <li>・兼城漁港大田地区に巻き上げ機を設置し、台風襲来時における大型船の陸揚げが可能となり、水産業の振興を図る環境を整備することができた。</li> <li>・導入した施設の適正管理に努める必要がある。</li> <li>・引き続き整備されていない5漁港の巻き上げ機と漁港施設の機能強化に取り組む必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な設備導入を行い、漁業者の利便性向上を図るとともに、大型漁船が増加傾向にあるため、漁民の労働負担や経費負担を軽減し安定経営を図る必要がある。</li> <li>・計画的な巻き上げ機の整備と、主要漁港の製氷施設の整備を図る必要がある。</li> <li>・今後は漁協において、給油施設及び巻き上げ施設の適正な管理・運用を行う。</li> </ul>

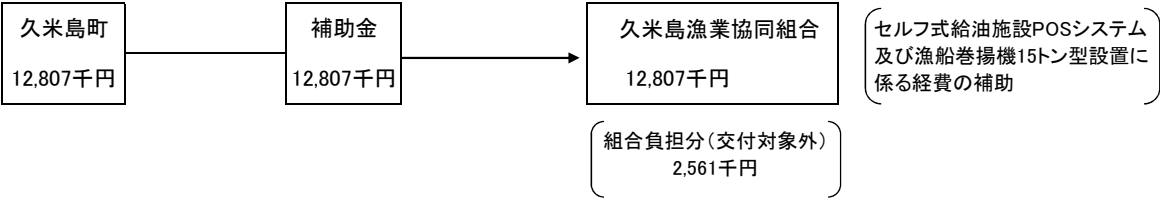
**今後の取り組み方針**

・平成27年度は儀間漁港と仲里漁港泊地区に巻き上げ機を導入し、平成28年度以降は3漁港(真謝、兼城、嘉手苅)の巻き上げ機導入を計画的に整備する必要がある。

・主要漁港の一つである仲里漁港真泊地区の製氷施設の搬水設備は氷の排出口が海側と陸側の切り替えがなく危険な状態にあるため、危険を回避と冷凍機能を-5℃から-10℃へ機能を強化を図り、水産業の振興と漁家の所得向上のために、早急に整備する必要がある。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
15,368	12,807	10,245	2,562	2,561



資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である漁協は、漁業者により組織され、実績及び知識等を助案した上で選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は漁業振興を図る上で必要な設備であり適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である漁協は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名 久米島町

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-③ モズク加工工場機能強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度 平成24~26年度	農林水産業の振興
		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)

事業内容 本町水産業の主要品目であるモズクの加工施設の強化を図り生産性の向上につなげるため、モズクの品質向上と適正な衛生管理に必要な洗浄機の整備を行う団体へ支援を行う。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ( )

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	18,711	—		4,428	
	(b) 予算現額	18,651	—		3,888	
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 60	—		▲ 540	
	(d) 繰越額	—	5,894		0	
	A. 計 (b+d)	18,651	5,894		3,888	
	B. 執行済額	12,757	5,894		3,888	
	うち交付金充当額	10,206	4,714		3,110	
	次年度繰越額	5,894	0		0	
	執行率 (%) (B/A)	68.4%	100.0%		100.0%	
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算減額の540千円は、入札残による補助金の減額である。</li> <li>・当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成目標を鑑みて適正であったと考えられる。</li> </ul>					

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		26年度	27年度	28年度	29年度
モズクカゴ洗浄機(1基)の導入	目標	( 1基 )	( )	( )	( )
	実績	1基			
	目標	( )	( )	( )	( )
	実績				
達成状況説明	モズクカゴ洗浄機1基を導入したことで、モズク生産者の作業労力が軽減された。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
			モズクカゴ洗浄機利用組合員数: 24名	( )	( 24名 )	( )
	実績		26名			
	目標	( )	( )	( )	( )	
	実績					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初目標は24人であったが、2人増えて26人が利用したことにより目標を達成することができた。</li> <li>・モズク品質向上と衛生管理が図られたと同時に、モズク生産者の作業労力が軽減された。</li> </ul>					

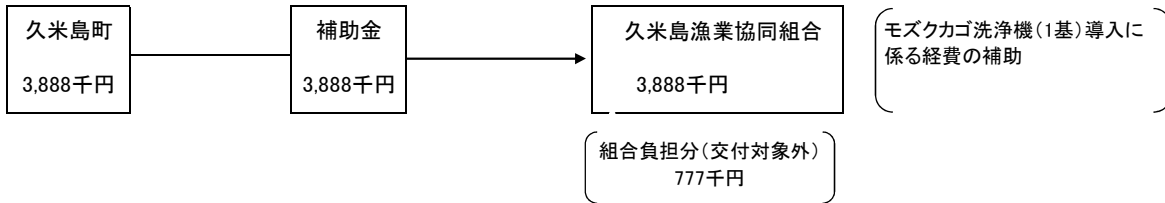
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今回の設備導入により、モズクの品質向上と衛生管理が図られ、モズク生産者の作業労力が軽減されたことにより、より一層の生産性向上及び安定供給体制が強化された。	モズク加工場の適正な衛生管理を図り、久米島モズクの安定した品質を継続的に保持する必要がある。

**今後の取り組み方針**

・生産量、生産額が前年度に比べて大幅に増えたことで、今後もモズクの安定供給を図り販売促進に繋げる。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,665	3,888	3,110	778	777



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である漁協は、漁業者により組織され、実績及び知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は漁業振興を図る上で必要な設備であり適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である漁協は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	久米島町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④ 久米島町循環型農業促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ウ		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25~27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産物の安全・安心の確立		
事業内容	本町の地域資源を有効活用した循環型農業の構築するため、町営堆肥センターの生産性の向上を図り、堆肥活用促進の機能強化を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	17,174	—	21,098			
	(b) 予算現額	26,880	—	21,589			
	(c) 増減額 (b-a)	9,706	—	491			
	(d) 繰越額	—	15,917	0			
	A. 計 (b+d)	26,880	15,917	21,589			
	B. 執行済額	10,963	15,631	21,589			
	うち交付金充当額	8,770	12,505	17,271			
	次年度繰越額	15,917	—	0			
	執行率 (%) (B/A)	40.8%	98.2%	100%			
予算の状況の説明	・当初予算より、自走式破砕機の木材破砕部のアタッチメント(カッター、スクリーン)や輸送経費の増により備品購入費491千円を増額した。 ・当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成目標を鑑みて適正であったと考えられる。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H26活動目標(指標)	達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	自走式破砕機(1台)の導入	目標	( 1台 )	( )	( )	( )	
		実績	1台				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	バガスの不足分を補い、安定して堆肥の副資材(水分調整剤)を確保するため、自走式破砕機を1台導入した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H26成果目標(指標)	基準値(25年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
	自走式破砕機による副資材の割合:10% (基準年:H25年度 0%)	目標	( 0% )	( 10% )	( )	( )	( )
		実績		5%			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	平成26年度10月に自走式破砕機の整備が完了し供用開始している。自走式破砕機導入時期の遅れや堆肥に適したチップサイズ等の検討に時間を要したため、目標には届かなかったが、堆肥センターの生産性が向上した。					

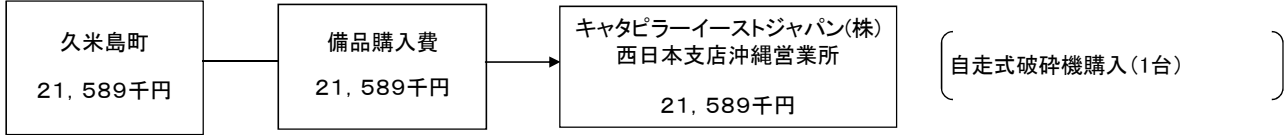
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	堆肥の原料であるバガス(水分調整剤)はさとうきびの副産物であり、台風の襲来等により年によってはバガスが不足する可能性もある。木材を破碎しチップ化することで水分調整剤を確保するため自走式破碎機を導入した。木材等をチップ化し定期的にストックすることで安定的な堆肥製造を行っていく必要がある。	チップ化した木材のサイズや破碎に適した木材等を検証し、効率的な堆肥製造を行っていく必要がある。

**今後の取り組み方針**

現在、牛糞の回収はフロントローダーで現場まで行っているが、時間がかかるため堆肥の製造に支障をきたしている。平成27年度より牛糞回収の際の時間的コストを削減し、堆肥の生産性向上を図るためユニックセルフ車の導入を予定している。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
21,589	21,589	17,271	4,318	0



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○物品納入業者は特殊な業務内容であったため随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額はなく適正な規模であった。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名	久米島町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤ 優良雌牛導入事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア		
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成26~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備		
事業内容	本町の繁殖雌牛の生産基盤の拡充・改良を促進し「くめじま牛」のブランド化を図り畜産業の振興につなげるため、優良遺伝繁殖雌牛の導入事業を行う団体へ支援を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	(a)当初予算額	8,100					
	(b)予算現額	8,100					
	(c)増減額(b-a)	0					
	(d)繰越額	0					
	A.計(b+d)	8,100					
	B.執行済額	7,947					
	うち交付金充当額	6,357					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	98.1%					
予算の状況の説明	・不用額の153千円は牛購入代金の減によるものである。 ・当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成目標を鑑みて適正であったと考えられる。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H26活動目標(指標)	達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	優良雌牛導入	目標	( 30頭 )	( )	( )	( )	
		実績	30頭				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	各農家から依頼を受け、JAが家畜セリ市にて優良繁殖雌牛を30頭導入した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(33年度)	
	優良雌牛導入率:13%	目標	( )	( 13% )	( )	( )	( 240頭 )
		実績		13%			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	導入目標である13%を達成できた。 平成23年度に策定した「久米島町酪農・肉用牛生産近代化計画」の目標頭数を実現するため、今後も取り組みを強化していく必要がある。					

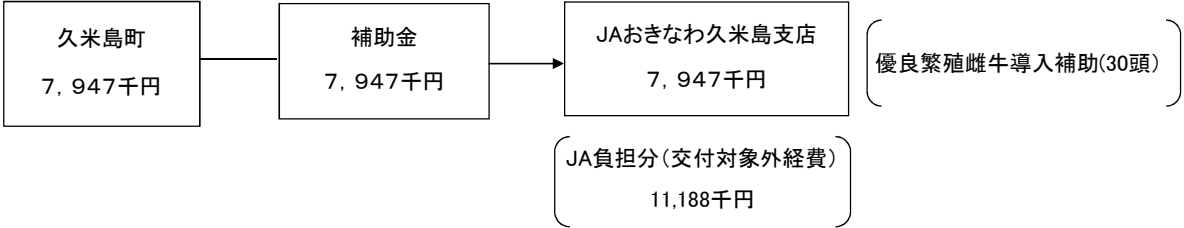
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	久米島町は畜産業も盛んであり、全国和牛共進会でも上位の成績を収める等、繁殖雌牛の飼養能力も評価されている。しかし、畜産農家の高齢化等により母牛頭数が減少傾向にあるため、継続して母牛の導入を行う必要がある。	平成26年度は県内の家畜市場を中心に導入を行ったが、県内ではセリの出品数が少ないことと、より品質の高い雌牛を導入するため、今後は県外市場(宮崎、鹿児島)の雌牛導入も視野に入れて事業実施する必要がある。

**今後の取り組み方針**

事業を早い段階で執行するとともに、JA等関係機関と連携し農家へ飼養管理向上に向けた営農指導を行うことで、優良繁殖雌牛を基にした母牛の増頭を促進する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
19,135	7,947	6,357	1,590	11,188



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である農協は、農業従事者により組織され、実績及び知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	○受益者である農協は総事業費の1/2を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。

市町村名	久米島町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦ 農産物出荷貯蔵施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-エ		
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林漁業の担い手の育成・確保及び経営安定対策等の強化 III-1-(6)		
事業内容	本町の輪ギクは拠点産地として認定され振興を図っているが、出荷商品の品質保持のため花卉園芸用冷蔵庫ユニットの機能強化する。また、露地野菜の生産体制強化を図るためプレハブ冷蔵庫の設置を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	(a) 当初予算額	25,804					
	(b) 予算現額	3,600					
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 22,204					
	(d) 繰越額	0					
	A. 計 (b+d)	3,600					
	B. 執行済額	3,523					
	うち交付金充当額	2,819					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	97.9%					
予算の状況の説明	・当初、プレハブ冷蔵庫設置を予定していたが事業内容を見直す必要があったことから22,204千円を減額補正した。 ・不用額77千円は、入札残による備品購入費の減額である。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H26活動目標(指標)	達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	花卉用冷蔵庫ユニットの整備	目標	( 3台 )	( )	( )	( )	
		実績	3台				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	出荷商品の品質保持を保ち、出荷するため花卉用冷蔵庫ユニット3台を整備した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
	出荷商品の品質保持体制の確立	目標	( )	( 体制の確立 )	( )	( )	( )
		実績		体制の確立			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	今回の設備整備により、非常時の電源確保及び出荷商品を多量に収穫しても冷蔵保管ができる出荷体制が確立された。					

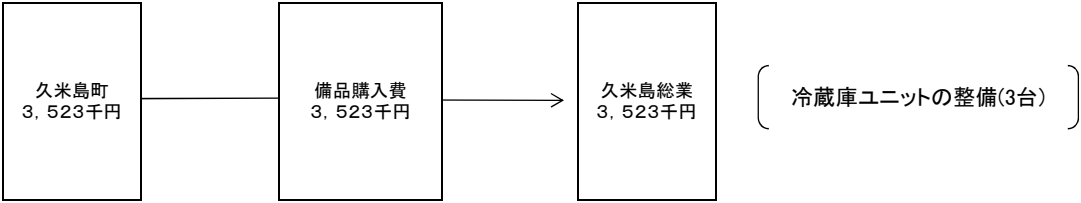
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花卉用冷蔵庫ユニットの整備により、出荷商品の品質を保つことができた。</li> <li>・非常時(停電時)にも対応できるよう建物の分電盤横に発電機からの引き込み線を設置しており、安心した商品の保管ができる体制ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷蔵保管することで商品の品質が保たれ、出荷調整ができことで農家所得向上を図る。</li> <li>・非常時(台風等による停電)においても非常時電源の設置により、安心した出荷体制の強化を図った。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

花卉の品質を保持し、市場価格や需要に合わせて出荷調整をするとともに、施設の管理責任者を配置し適正な管理・運用を行う。  
露地野菜の生産体制強化を図るためプレハブ冷蔵庫の設置を行う必要がある。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金	交付金充当額	
3,523	3,523	704	2,819	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-① 久米島紬販売促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ウ 特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化		
	担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(4)	
事業内容	久米島紬の付加価値を高め販路拡大を図るため、消費者ニーズに即した商品開発や新商品の展示会やファッションショーの開催、問屋呉服店への販即訪問等を支援する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		(a) 当初予算額	2,407	2,250	10,220		
	(b) 予算現額	1,914	2,250	10,386			
	(c) 増減額(b-a)	▲ 493	0	166			
	(d) 繰越額	—		0			
	A. 計(b+d)	1,914	2,250	10,386			
	B. 執行済額	1,914	1,997	9,167			
	うち交付金充当額	1,531	1,597	7,334			
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	88.8%	88.3%			
予算の状況の説明							
・不用額1,219千円は「商品開発試作品製作」に対応できなかったため、次年度の取り組みとしたことによるものである。							
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度(2-①)	25年度(2-①)	26年度	27年度(2-①)	
	島外での展示会開催数	目標	( 4回 )	( 6回 )	( 6回 )	( )	
		実績	5回	5回	9回		
	商品開発試作品製作数	目標	( )	( 6反 )	( 5反 )	( )	
		実績		5反	未実施		
	商品開発試作品製作数(ウェア)	目標	( )	( )	( 4点 )	( )	
		実績			4点		
	達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度に5種類の原料を用い商品開発した「大地染め」を平成26年度より販売を開始した。</li> <li>問屋だけでなく、多くの消費者にPRするため、東京展を含め島外での展示販売会を9回開催し、目標を上回ることができた。</li> <li>反物の商品開発試作品製作に関しては、原材料の確保が困難なため、次年度に実施を見送った。</li> <li>紬の糸を使ったウェアを開発、新聞で取り上げられたことで広くPRできた。</li> </ul>				
	成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度(2-①)	25年度(2-①)	26年度
島外での展示会開催数		目標	( )	( 4回 )	( 6回 )	( )	( )
		実績		5回	5回		
商品開発試作品製作数		目標	( )	( - )	( 6反 )	( )	( )
		実績		—	5反		
反物売り上げ額		目標	( )	( )	( )	( 7,000万円 )	( 7,800万円 )
		実績				7,100万円	
小物売り上げ額		目標	( )	( )	( )	( 1,000万円 )	( 1,750万円 )
		実績				1,000万円	
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>売上目標、実績は、商品開発、物産展での売上を含めた、紬組合全体の売上目標、実績を計上しており、目標値を上回っている。</li> <li>久米島紬東京展を単独開催したことにより、展示会への出展依頼(京都・新潟・東京等)が増えた。</li> </ul>					

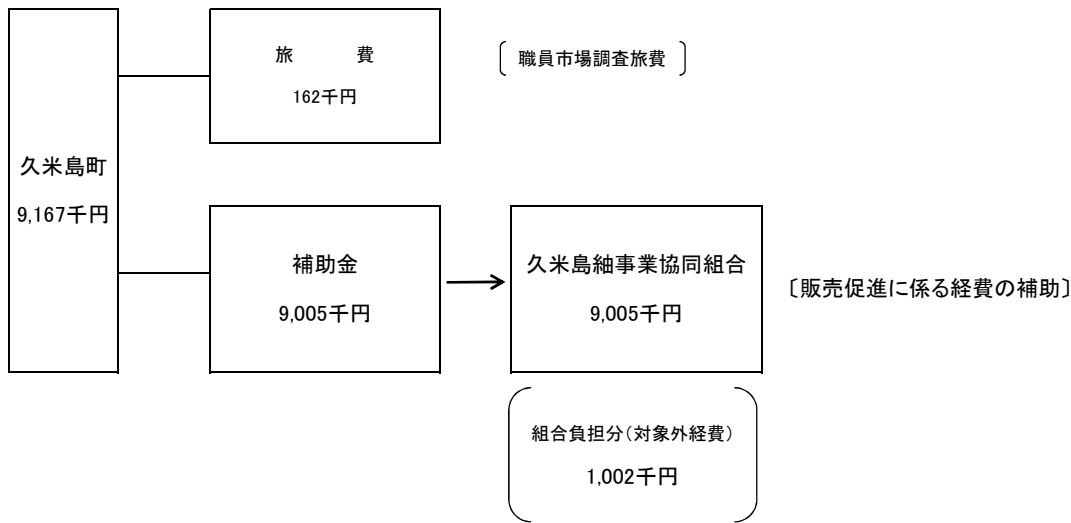
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな販路拡大を図るため、問屋だけの展示販売ではなく、直接、消費者に久米島の魅力を伝える目的で、首都圏で単独の展示販売会を開催した。</li> <li>・各展示会の説明員、講師が特定の袖従事者に限られているため、すべての袖従事者が対応できるように改善していく必要がある。</li> <li>・今年度開発したウェアは冬物ニット商品のため、販売期間が限られており、今後の販売戦略が課題になる。</li> <li>・H25年度開発の「大地染め」については、染めの実績が浅く、技法が浸透していないため、問屋からの発注が予想よりも下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての袖従事者が販売促進、幅広い層の顧客獲得に繋がる接客技術の習得等、資質向上にむけての研修等を充実させていく必要がある。</li> <li>・他産地の展示会等を参考にしながら、内容を充実させ幅広い客層のニーズに対応できるような展示会開催(年10回)を目指す。</li> <li>・老若男女を問わず、手軽に購入できる「久米島紬」製品の開発が必要である。</li> <li>・後継者の育成に力を入れ、生産体制を強化し、地場産業としての発展を目指すとともに久米島袖従事者を確保する。</li> <li>・染めの技法について、展示会や専門誌、ホームページ等で積極的に情報発信する。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・行政、商工会、観光協会等との連携を図り、首都圏での展示販売会開催に取り組む。
- ・新商品開発のためのマーケティング調査を強化する。
- ・富裕層や年配の客層に加え、若者や男性の客層を取り込み、誰でも手軽に「久米島紬」を購入できる商品開発に取り組む。
- ・生産体制を強化するためにも後継者の育成に引き続き取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,169	9,167	7,334	1,833	1,002



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である袖組合は、袖製造従事者により組織され、実績及び知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○予算規模は袖振興を図る上で必要な経費であり適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である袖組合は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		久米島町					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-② 海洋深層水全国展開事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ウ 特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化		
担当部署名	商工観光課		事業実施(予定)年度	平成24~28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(4)
事業内容	海洋深層水関連商品の販路拡大を図るため、首都圏において開催される商談会への参加及びPR用パンフレットの作成を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,273	2,081	1,624		
		(b) 予算現額	2,273	2,165	1,624		
		(c) 増減額 (b-a)	0	84	0		
		(d) 繰越額	-	-	-		
	A. 計 (b+d)		2,273	2,165	1,624		
	B. 執行済額		2,273	2,165	1,440		
	うち交付金充当額		1,818	1,732	1,152		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%	88.7%		
予算の状況の説明		・不用額184千円は委託料経費を見直したことによるものである。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	商談会への参加社数	目標	( 商談会出展2ブース3日間 )	( 2社 )	( )	( )	
		実績	商談会出展2ブース3日間	2社			
	パンフレットの配布数	目標	( パンフレット作成4,000部 )	( 500部 )	( )	( )	
		実績	パンフレット作成10,000部	500部			
商談会面談者数	目標	( )	( 200名 )	( )	( )		
	実績		100名				
達成状況説明		・2事業所が出展し、商談会、パンフレットの配布等を行った。 ・パンフレットは受け取っても、ブースに足を止めるバイヤーは少なく、面談(名刺交換)にはいたらなかった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(28年度)
	商談会面談者数	目標	( )	( )	( 200人 )	( )	( 200人 )
		実績			100人		
	商談(取引)成立数	目標	( )	( )	( 3件 )	( )	( 3件 )
		実績			1件		
	商談回出展(首都圏)	目標	( )	( 商談会出展2ブース3日間 )	( )	( )	( )
		実績		商談会出展2ブース3日間			
	PR用パンフレットの配布	目標	( )	( パンフレット作成4,000部 )	( )	( )	( )
		実績		パンフレット作成10,000部			
	進捗状況説明		・他県の取水地と連携した首都圏の流通・小売業者等のバイヤーに対するPR・販路拡大に繋げることを目的に参加しているが、面談社数、商談成立数共に昨年を下回った。 ・商談成立は1社であるが、引き続き12社は契約に向け商談中である。				

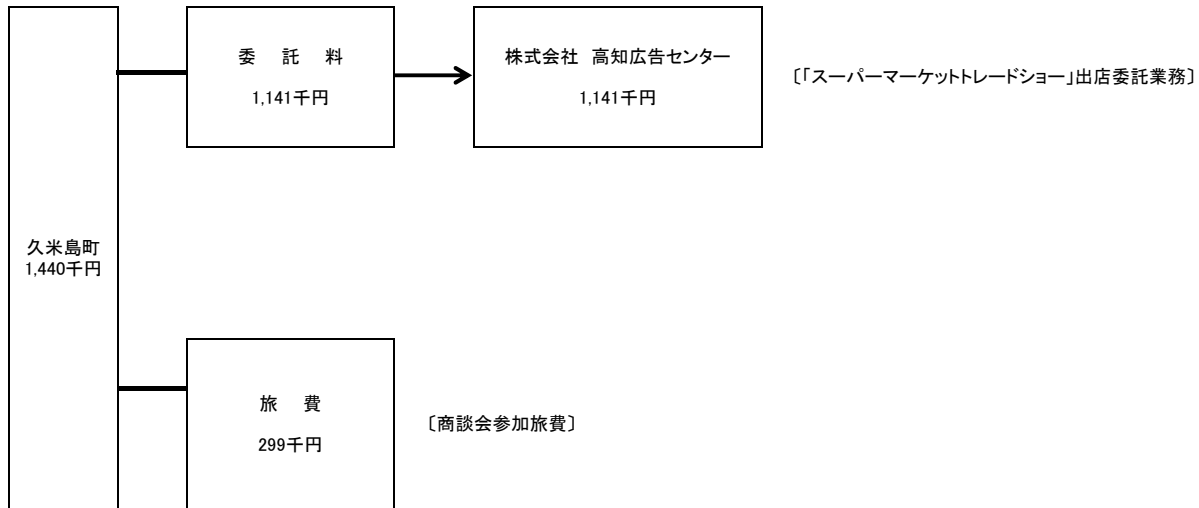
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>他県の取水地と連携し大規模な商談会に参加している。海洋深層水のブースで出展することにより、海洋深層水の認知度は高まりつつあるが、「沖縄・久米島」の認知度はまだまだ低いのが現状である。</li> <li>パンフレットを受け取っても、ブースを通過してしまうバイヤーが多く、面談社数、商談成立数共に昨年度を下回った。</li> <li>認知度をいかに高めるかの工夫、努力が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年、1万部作成したパンフレットを活用し取り組んだ。今後も物産展、商談会等でパンフレット配布を行い、深層水を利活用した取り組み等も併せてPRし、「久米島海洋深層水」の認知度とブランド力を高めていく努力が必要である。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・深層水を利活用した取り組み、効能、可能性なども併せて、町ホームページや各企業から情報発信や物産展、観光展などでのパンフレット配布等で認知度を高めていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,440	1,440	1,152	288	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出展委託業者は海洋深層水フェアの幹事団体である高知県海洋深層水協議会が選定した業者に依頼しており、妥当であったと考えている。</li> <li>○ 不用額は、事業見直しによる減であり適正な規模であった。</li> <li>○ 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



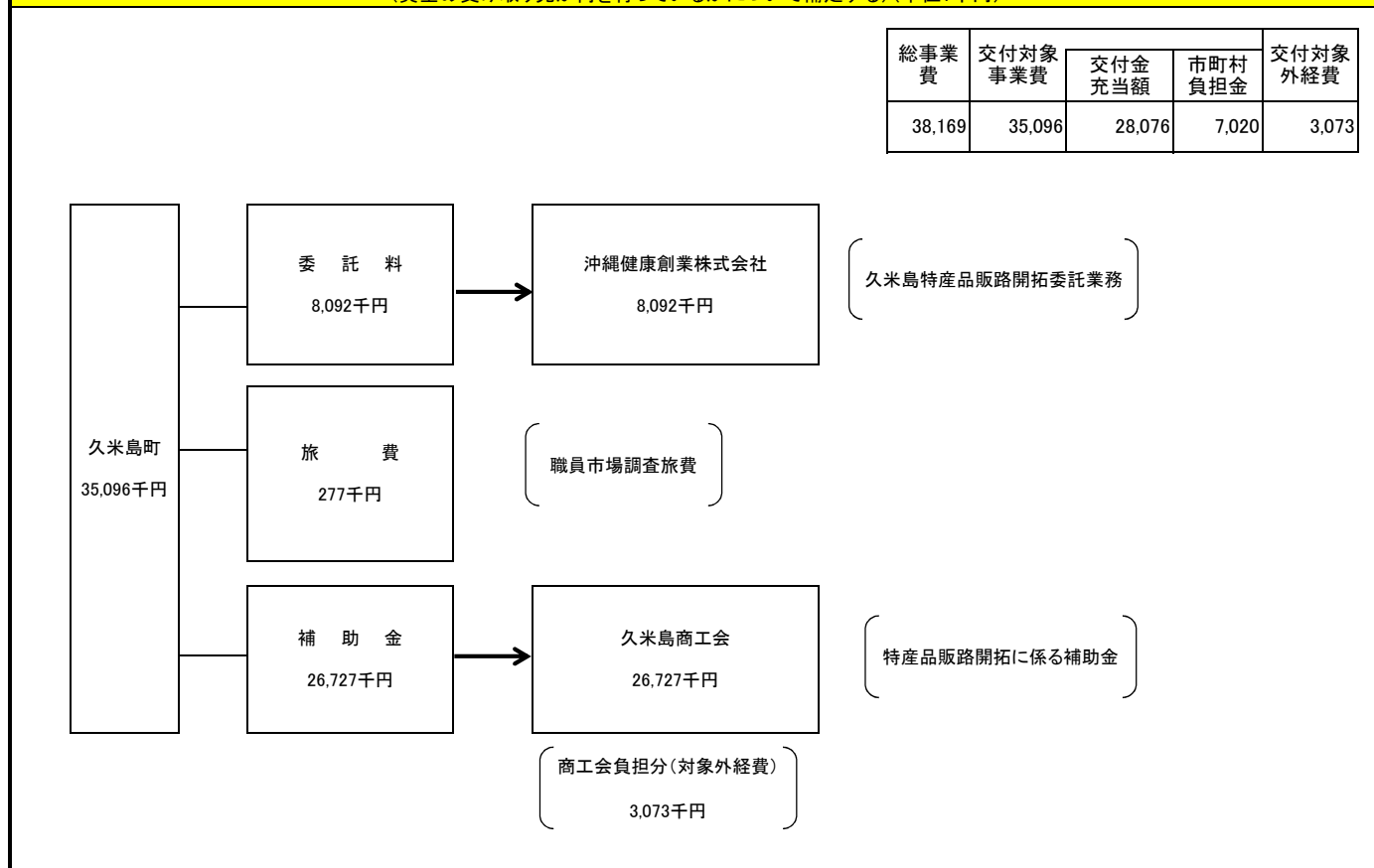
市町村名		久米島町					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③ 久米島特産品販路開拓事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ウ		
担当部署名	商工観光課		事業実施(予定)年度	平成24~27年度		特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化	
事業内容	本町特産品の販路拡大及び若手後継者の育成を図るため、流通・商品開発専門の外部アドバイザーやコーディネーターを配置し新商品の開発や既存商品のデザイン等の改良等を行う他、知名度向上のため県内・県外での開催される物産展への定期的な出店やビジネス戦略等の研修会等を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,225	44,575	42,000		
		(b) 予算現額	2,225	44,575	36,338		
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲ 5,662		
		(d) 繰越額	-	-	-		
		A. 計 (b+d)	2,225	44,575	36,338		
	B. 執行済額		2,225	37,600	35,096		
	うち交付金充当額		1,780	30,080	28,076		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	84.4%	96.6%		
予算の状況の説明		・委託に係る経費の見直しにより、当初予算より5,662千円減額補正した。 ・不用額1,243千円は「乳酸菌を活用した商品開発」を次年度の取り組みとしたことによるものである。 ・当初計画していた事業内容で乳酸菌を活用した商品開発は実施できなかったが、他はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度(2-②)	25年度(2-④)	26年度	27年度(2-③)	
	アドバイザー・専門家等の派遣	目標	( )	(アドバイザー育成)	(延べ35回)	( )	
		実績		アドバイザー育成(1名)	20回		
	講習会・勉強会の開催	目標	( )	( )	(14回)	( )	
		実績			14回		
	新商品開発、既存商品の改良	目標	(6点)	(団体への支援)	(開発11品改良9品)	( )	
		実績	6点	久米島商工会への支援	開発2品改良6品		
	物産展の開催又は参加	目標	(3回)	(団体への支援)	(5回)	( )	
		実績	3回	久米島商工会への支援	8回		
達成状況説明		・商品開発については、今年度は紅芋に特化した商品開発であったため、参加事業所が少なく目標を下回った。紅芋の商品は、2品が完成し次年度より販売を開始する。 ・アドバイザー・専門家等の派遣については、商品開発参加事業所数が少なかったため、派遣回数減らし、1社当たりの打合せに要する時間を十分に確保できるようにしたため、派遣回数が目標を下回った。 ・沖縄久米島印は、販売を行いながら市場のニーズを検証しアドバイザー指導のもとブラッシュアップを行なった。(価格見直し、容器改良、その他) ・専門家を招聘した講習会(14回)・島名以外での物産展の開催(8回)は計画通りの開催となった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度(2-②)	25年度(2-④)	26年度	目標値(28年度)
	特産品の新商品開発	目標	( )	( )	(7件)	(9品)	( )
		実績			11件	6品	
	乳酸菌を有効活用した新商品の開発	目標	( )	( )	( )	(2品)	( )
		実績				未実施	
	物産展等における販売額	目標	( )	( )	( )	(20,000千円)	(25,000千円)
		実績				23,100千円	
	【参考指標】平成26年度開発商品売上げ額		目標	( )	( )	( )	(1,200千円)
	進捗状況説明		・海洋性乳酸菌を活用した商品開発を予定していたが、商品化における詳細な検証(乳酸菌の効果、効能等)当初予定していた以上に費用がかかるため、実施を取りやめた。 ・商品開発改良(沖縄久米島印の販売とブラッシュアップ、久米島産紅芋を原料とした商品開発)に取り組んだが、原料が紅芋と限定されていたため、参加事業所が少なく目標に届かなかった。 ・県内における物産展に参加し、23,100千円の販売額があり、目標を達成することができた。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品や既存の商品を販売するにあたり、大手の卸問屋の販売ルートにおいては、取引条件が厳しいため、独自の販売ルートの開拓が必要である。</li> <li>・物産展については、参加事業所が赤字にならない催事を選定する必要がある。</li> <li>・講習会(ビジネス戦略、マーケティング戦略構築事業)は受講時間(2日間)が長いことから参加者が少ない。</li> <li>・「久米島印」については、パッケージを改良し、販売価格を下げたが売上に結びついていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品や既存の特産品の販売については、島内・県内・県外に独自の販売拠点を設置する必要がある。</li> <li>・物産展の主催やその他の特産品販売のイベント参加は効率の良い催事に絞り込んで事業所に呼びかける。</li> <li>・講習会は、多くの事業所に呼びかけて、受講の効果を説明して受講者を増やす。</li> <li>・「久米島印」商品の内容及び容量等を既存の商品との差別化を図り、販売向上に繋げる</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ①島内で久米島特産品の販売を強化するために久米島物産公社と連携する。(各ホテル・お土産品店・久米島空港)
- ②久米島アンテナショップである離島マルシェの開業を支援して、那覇市内における久米島特産品の販売を強化する。
- ③全国商工会連合会の事業を活用して、東京(吉祥寺予定)に久米島アンテナショップを開設して県外に於ける久米島特産品販売の拠点とする。
- ④県内及び県外での物産展への参加を支援して各事業所の売上増加に繋げる。(県内3箇所・県外3箇所を目標とする)
- ⑤多くの事業所に講習会の受講を呼びかけて受講者を増やして、各事業所の経営改善に繋げる。(受講者目標7社)
- ⑥「久米島印」の販売を伸ばすために、セット販売や商品の特徴を明記したリーフレットを作成し、販売促進に繋げる。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支出先は商工業事業者によって組織され、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。</li> <li>○予算規模は特産費販路開拓等に必要経費であり適正な規模であった。</li> <li>○受益者である商工会は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。</li> <li>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
○			

市町村名		久米島町					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 久米島観光誘客支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
	担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	久米島の良さを効果的に伝え観光客の誘客を促進するため、島の魅力を活かした旅行商品の企画、各種イベントの開催や広報活動等を実施し、観光産業の振興を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	11,268	32,826	17,184		
		(b)予算現額	10,574	32,826	17,184		
		(c)増減額(b-a)	▲694	0	0		
		(d)繰越額	-	-	0		
	A. 計(b+d)		10,574	32,826	17,184		
	B. 執行済額		10,574	18,628	11,668		
	うち交付金充当額		8,457	14,902	9,334		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	56.7%	67.9%		
予算の状況の説明		・不用額5,516千円が発生しているが、イベント開催経費の節約や交付対象外経費(大会参加料等)の増による補助金の減である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	イベント開催(4件)	目標	( 3件 )	( 4件 )	( 4件 )	( )	
		実績	3件	4件	4件		
	広報推進事業 広報活動 7件	目標	( 5件 )	( 7件 )	( 7件 )	( )	
		実績	5件	5件	4件		
	修学旅行営業 10校	目標	( )	( )	( 学校10校 )	( )	
実績				旅行会社28件			
バスツアー造成 団体型34ツアー/個人型92ツアー	目標	( )	( )	( 団体34ツアー 個人92ツアー )	( )		
	実績			団体34ツアー 個人73ツアー			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽やフラダンス、スポーツなどのイベントを4件実施し、全国から誘客した。</li> <li>広報推進事業では、県内外での(観光物産展などの)イベント等にて、ポスター等を掲示し、観光案内やパンフレットの配布等で久米島観光をPRし、久米島の知名度の向上を図った。当初7件の参加を予定していたが、他事業等と時期が重なるなど参加できないイベントもあり、4件の実施となった。</li> <li>修学旅行の営業として10校の営業を予定していたが、学校ではなく実際に修学旅行のプランを作成する旅行会社への説明(営業)を依頼され、旅行会社28件に営業を行った。</li> <li>バスツアーの造成を旅行社に募り、閑散期の団体旅行を誘致した。個人型バスツアーは事前予約・販売に加えて、現地販売も予定していたが、旅行業法により当日販売ができず、目標達成に至らなかった。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	参加人数	目標	( )	( 1,900名 )	( 2,300名 )	( 1,000名 )	( 900 )
		実績		1,386名	1,668名	880名	
	広報推進事業 広報活動/久米島の認知度向上	目標	( )	( 5件 )	( 7件 )	( 7件 )	( )
		実績		5件	5件	4件	
	修学旅行誘致	目標	( )	( )	( 4校 )	( 4校 )	( )
		実績			3校	7校	
バスツアー利用者数	目標	( )	( )	( )	( 2,020人 )	( )	
	実績				1,929人		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>久米島への誘客を図るため広報活動や修学旅行対策事業、イベント等を実施し、効果的な誘客展開を行った。</li> <li>イベント開催事業では音楽やフラダンス、スポーツなどのイベントを開催し、多方面からの誘客を図るために広報活動等を行った。集客目標を達成したイベントもあったが、開催時期の変更により集客目標を達成出来なかったイベントや、内容の見直し等を行い魅力化を図ったものの、周知・広報不足により目標達成には至らなかったイベントもあった。</li> <li>修学旅行対策事業については、営業など誘致活動を行った結果、7校が修学旅行を実施し、目標を達成できた。</li> <li>バスツアーについては、旅行会社が夏場の個人バスツアー、閑散期の団体バスツアーの商品を造成し、全国から利用者があった。個人バスツアーについては、予定していた現地販売が旅行業法により出来なかったため、目標達成には至らなかった。</li> </ul>						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・シュガーライドについては、時期を変更して実施したところ集客が減少したため、開催時期について検証する必要がある。</p> <p>・広報推進事業では、県内外での(観光物産展などの)イベント等にて久米島観光PRを実施、ゆるキャラ“く〜みん”なども派遣しながら、効果的な観光PRを実施しているが、イベントの準備や他の事業と時期が重なり、参加できない県外イベント等もあるため、業務の見直し等を図り、効率的かつ効果的なPRが出来るよう検討する必要がある。</p>	<p>・シュガーライドを平成27年度は休止し、誘客効果の状況について検証する。</p> <p>・各種イベントについては、募集方法や広報について、関係者との意見交換を行い、最も効果的な手法を構築し参加者数の改善を図る。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・イベント参加者のニーズに応え魅力あるイベントにするため、昨年実施したアンケートをもとに、オプションツアーの実施や事前情報の発信に取り組んで実施方法の改善を図る。</p> <p>・関係者との意見交換を行い、効果的な手法により島外参加者へ情報発信を行う。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	16,239	11,668	9,334	2,334	4,571
<pre> graph LR     A[久米島町 11,668千円] --&gt; B[補助金 11,668千円]     B --&gt; C["(一社)久米島町観光協会 11,668千円"]     C --- D["(観光協会負担分(対象外経費) 4,571千円)"]     E["(久米島観光協会に対するイベント開催 等補助(7件) (修学旅行対策、広報推進活動、シュ ガーライド、ハワイアンフェスティバル、 ワンラブ久米島、のんびりウォーク、パ スツアー造成)"]     </pre>					

資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は観光事業者によって組織され、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は観光誘客に必要な経費であり適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である観光協会は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名 久米島町

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-③ 体験交流型観光商品開発販売促進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度 平成26~28年度	観光リゾート産業の振興
		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容 本町の観光入域客数を増加させ観光産業の振興を図るため、修学旅行受入促進のための旅行商品の開発、販売促進事業を実施する団体へ支援を行う。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ( )

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	8,689				
	(b) 予算現額	8,689				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 繰越額	0				
	A. 計 (b+d)	8,689				
	B. 執行済額	7,697				
	うち交付金充当額	6,158				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	88.6%				
	予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不用額992千円が発生しているが、交流型体験プログラムの販売収益増による補助金の減である。</li> <li>・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。</li> </ul>				

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		26年度	27年度	28年度	29年度
		民泊の営業許可の取得件数	目標 ( 30件 )	( )	( )
	実績	21件			
	目標	( 20件 )	( )	( )	( )
	実績	22件			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民泊の営業に必要な簡易宿泊の手続きは、平成26年度は21件の登録が完了した。そのうち17件は別事業にて登録し、本事業では4件の登録となった。各戸訪問してアプローチしたが、民泊に関する理解不足により、目標を達成できなかった。</li> <li>・体験プログラムは22件の開発・改良を行ったことにより、目標を達成することができた。</li> </ul>				

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
		修学旅行入域者数	目標 ( ) ( 400人 )	( )	( )	( )	( )
			実績	598人			
		目標	( ) ( 1,200人 )	( )	( )	( )	
	実績	1,283人					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業訪問や資料送付により、県内小学校2校、県外高等学校7校の合計9校で598人が修学旅行を実施し、目標を達成できた。</li> <li>・体験プログラムは修学旅行生をはじめ、個人のお客様への販売も旅行会社等を通して積極的に行った結果、目標を達成することができた。</li> </ul>						

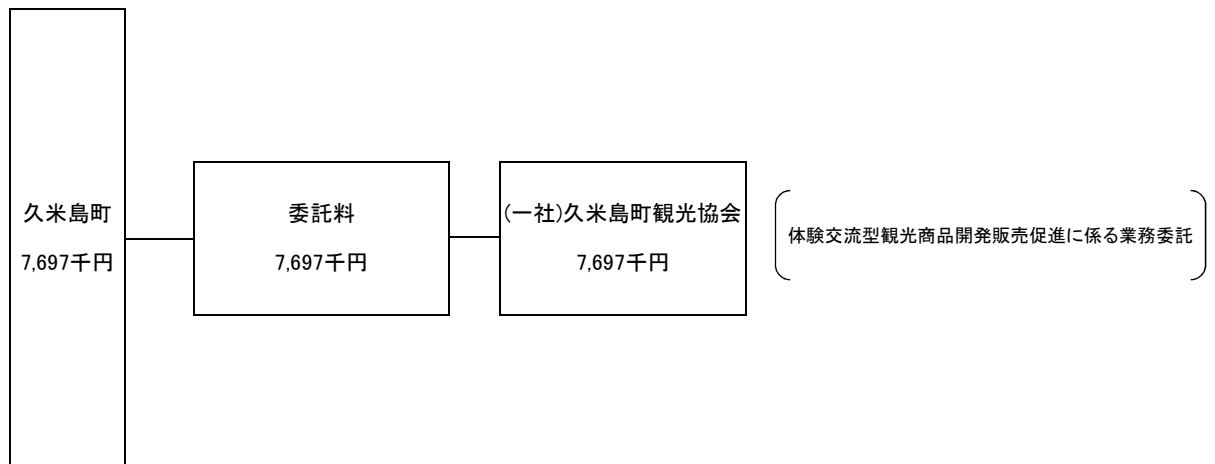
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度は2回の民泊受入があり、特に問題は発生しなかったが、今後実施していく上では、民泊受入家庭の資質向上を図る必要がある。</li> <li>修学旅行の誘致する上で、魅力的な体験プログラムを提供できるように、体験プログラムの開発・改良への取り組みが必要。</li> <li>修学旅行誘致では、那覇-久米島間の飛行機の移送能力の低さが足かせとなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受入民家の資質向上に向けて研修等を開催する必要がある。</li> <li>民泊受入の経験を積むために、一般のお客様への民泊提供についても、島内宿泊業者の理解を得ながら実施していく必要がある。</li> <li>那覇-久米島間の飛行機が小さいため、大型校ではなく、小規模学校への修学旅行誘致活動を行う必要がある。</li> <li>体験プログラムの利用者へアンケート等を実施し、満足度等を調査し、既存プログラムの改善や新規プログラムの開発を行う必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- 民泊では、保護者・先生から子どもを預かるということから、危機管理に重点をおき、受入民家の資質向上のための研修を実施する。
- 修学旅行生や一般の観光客に、印象に残るような体験プログラムを実施するために、プログラムの開発・改良を行う。新規プログラムのモニター的活用が可能な県事業を積極的に活用し、連携して取り組む。
- 行政と観光協会が一体となり、航空機の移送について改善されるように取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
7,697	7,697	6,158	1,539	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は特殊な業務内容であったため随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は、事業費見直しによる減であり適正な規模であった。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④ スポーツ合宿誘致事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ		
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成26~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光客が減少する冬季の誘客促進を図るため、スポーツ合宿の誘致活動を実施し、スポーツコンベンションの推進を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,500				
		(b) 予算現額	3,152				
		(c) 増減額 (b-a)	1,652				
		(d) 繰越額	0				
	A. 計 (b+d)		3,152				
	B. 執行済額		3,152				
	うち交付金充当額		2,522				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・事業効果の早期発現を図るため、事業計画の見直しにより当初予算から役務費(広告代)1,652千円を増額補正した。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	陸上合宿誘致	目標	( 陸上合宿誘致 )	( )	( )	( )	
		実績	陸上合宿誘致				
	パークゴルフ大会誘致	目標	( パークゴルフ大会誘致 )	( )	( )	( )	
		実績	パークゴルフ大会誘致				
達成状況説明	・陸上合宿については、実業団陸上部等の監督やコーチ等へ直接アプローチし誘致活動・招聘事業を行った。 ・パークゴルフ大会については、パークゴルフ用品メーカーや航空会社、旅行会社等に訪問し、大会やツアー開催について誘致活動を行った。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	陸上合宿	目標	( )	( 4件 )	( )	( )	( )
		実績		4件			
	パークゴルフ大会	目標	( )	( 1件 島外100人 )	( )	( )	( )
		実績		2件 島外131人			
	進捗状況説明	・陸上合宿は誘致活動、招聘事業を行った結果、実業団陸上競技部4団体(47人/451人泊)(昨年比50%増)が合宿を行った。 ・パークゴルフメーカーであるHONMAの全国大会を久米島にて開催。また、JAL・JTA杯を久米島町長杯と合同開催した。					

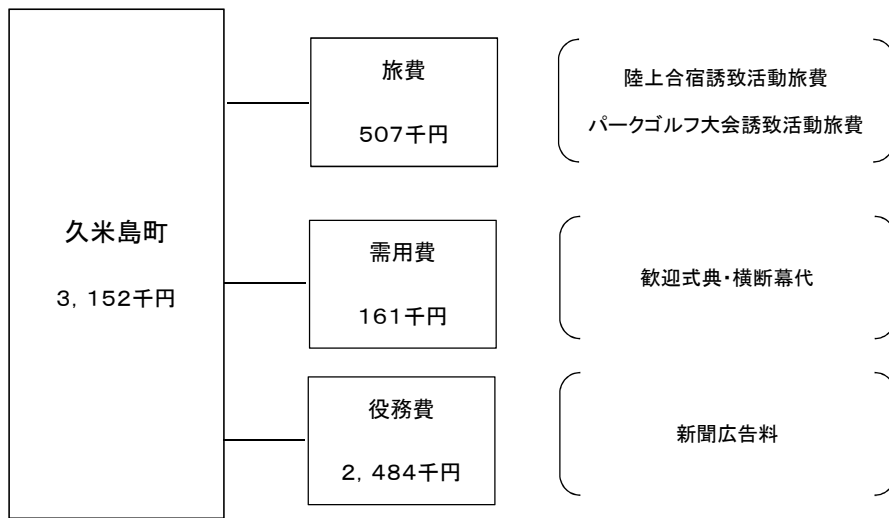
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>陸上合宿の誘致のため監督等を招聘した際の島内視察案内は、コース設定やコース案内等で民間の方の協力を得て行ったが、多くの時間を割いていただき、負担をかけた部分もあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>島内視察や受入に関して、スポーツコンベンション推進協議会の組織等も活用し、民間に負担をかけないように配慮する。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- 陸上合宿については、県内での陸上合宿を受け入れている事業所からアドバイスを受け、誘致活動時期や方法等を検討し、効果的な誘致活動を行う必要がある。
- 島内視察に関して、スポーツコンベンション推進協議会の組織等も活用し、受入において連携を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,152	3,152	2,522	630	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支出先は、実績及び知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。</li> <li>○不用額はなく適正な規模であった。</li> <li>○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名	久米島町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑤ 航空路線拡充対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-(ウ)		
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成26~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化		
事業内容	伸び悩み観光入域誘客の増加に繋げるため、チャーター便や新規航空会社の誘致を行い、航空路の充実・強化を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,683				
		(b) 予算現額	8,596				
		(c) 増減額 (b-a)	4,913				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計 (b+d)	8,596				
	B. 執行済額		8,596				
	うち交付金充当額		6,877				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・当初、20便のチャーター便運航を予定していたが、申込み数が好調であったことから補正で追加の8便分の予算4,913千円を増額した。 ・当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成目標を鑑みて適正であったと考えられる。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	久米島空港におけるチャーター便への給油体制の整備	目標	( 給油体制の整備 )	( )	( )	( )	
		実績	給油体制の整備				
	新規航空会社誘致の調査活動	目標	( 調査活動 )	( )	( )	( )	
		実績	1回				
達成状況説明	・久米島空港には給油施設が無いため、チャーター便の誘致には給油体制を整える必要があり、給油車の賃借と燃料を調達し久米島空港にて配備した。 ・新規航空会社の誘致活動を1回実施した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	チャーター便運行数	目標	( )	( 17便 )	( )	( )	( )
		実績		28便			
	新規航空会社のニーズの把握	目標	( )	( ニーズの把握 )	( )	( )	( )
		実績		調査活動1回			
	進捗状況説明	・チャーター便誘致のため、航空会社本社及び運航管理する部署にて久米島への誘致活動と、旅行を催行する旅行社には久米島のPRを行い商品造成の協力を要請した結果、県外(静岡、名古屋、長野、徳島、島根、広島、熊本、北九州、山口)からのチャーター便28便が就航した。 【就航期間: H26.12/1~12/8, H27.3/12~3/31】 ・給油システムの調査・調整業務(県内2件×3名、県外2件×3名)を行い、久米島空港に適する給油施設等に関する事前調査を行った。 ・新規航空会社の久米島路線の可能性について2社訪問し、プレゼン、意見交換を行い、ニーズの把握に努めた。新規路線の開設には課題が多く、引き続き新規航空会社の参入促進に関する調査を実施する必要がある。					

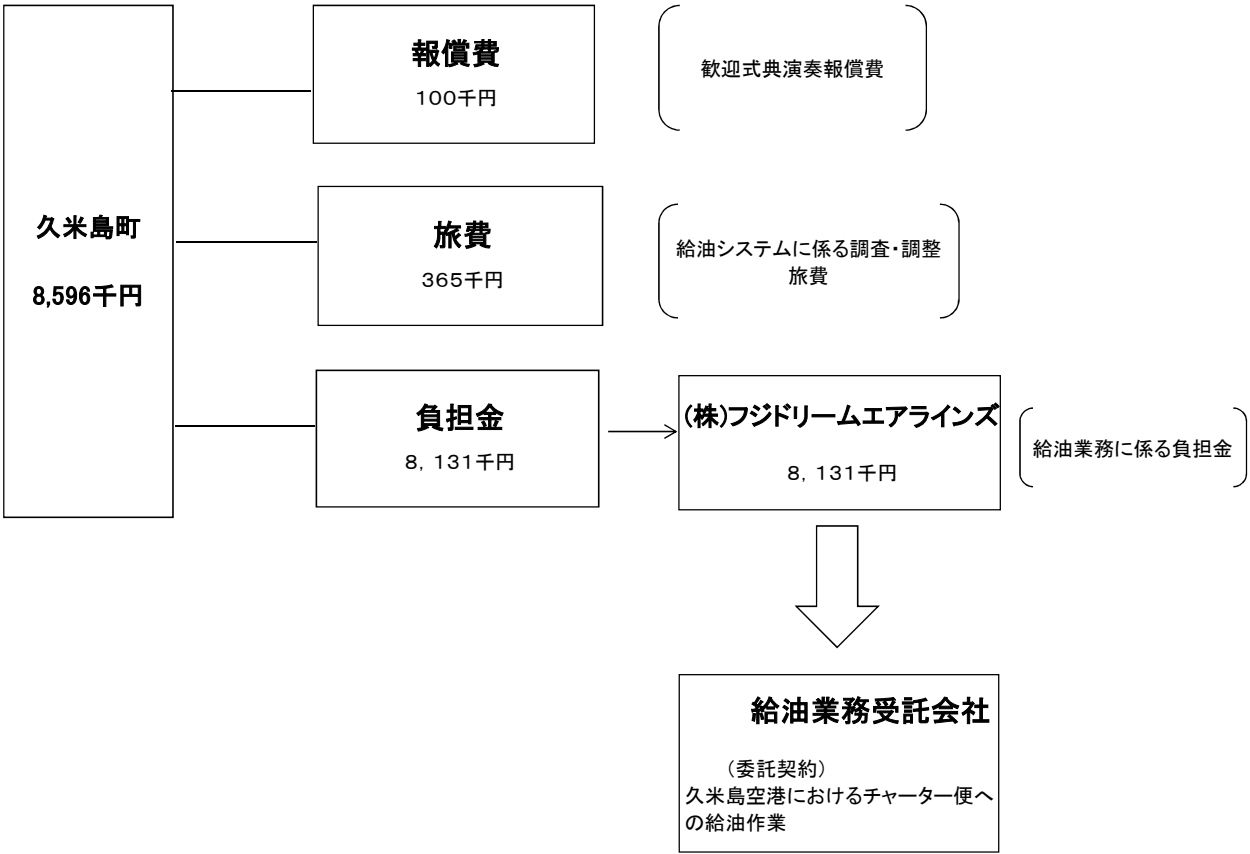
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県外からの直行便及びチャーター便が就航するためには、久米島空港での給油が必要となるが、現在久米島空港には給油施設が無いことから、給油体制が整わないと路線誘致が不可能である。</li> <li>・航空路線の拡充を図り、久米島への観光誘客を図るためには、チャーター便の誘致をはじめとする給油需要を作り出し、給油施設の整備に係る取組が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給油施設整備の実現には、段階的な取り組みとして、①チャーター便の増便、②東京直行便の運航期間延長、③県外新規路線の誘致が必要である。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・久米島町の観光誘客目標数12万人を達成するために、定期路線だけでは限界があるのでチャーター便の誘致を図る。
- ・チャーター便の誘致に必要な久米島空港における給油体制の取組み。
- ・給油施設整備の可能性に関して関係機関や事業者を交えて調査を行う。
- ・平成27年度はチャーター便誘致及び新規航空会社の誘致に関する調査を実施する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,596	8,596	6,877	1,719	0



資金の流れ、費目・用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○航空機の給油は特殊な業務内容であったため随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額はなく適正な規模であった。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③ バス停上屋整備事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成26~28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	快適な観光地づくりを目指し、観光施設周辺のバス停の雨天及び直射日光の強い日差し対策としてバス停上屋の整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	8,000				
		(b) 予算現額	8,806				
		(c) 増減額 (b-a)	806				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計 (b+d)	8,806				
	B. 執行済額	8,806					
	うち交付金充当額	7,045					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	・委託料は当初計上していなかったが、現場調査を行う必要が生じたことから委託料806千円を増額した。 ・当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成目標を鑑みて適正であったと考えられる。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H26活動目標(指標)	達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	バス停上屋を2カ所整備	目標	( 2箇所 )	( )	( )	( )	
		実績	2箇所				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	観光地周辺のバス停に上屋が設置されていないので、雨天や直射日光の強い日差し対策のため、利用頻度が高い2箇所を整備した。 観光客等の利便性向上や観光地としてのイメージアップが図られた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(28年度)	
	バス停上屋整備率:33% (整備予定:6カ所)	目標	( )	( 33% )	( )	( )	( 100% )
		実績		33%			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	利用頻度が高いバス停上屋2箇所を整備したことにより、観光客等の利便性向上が図られている。					

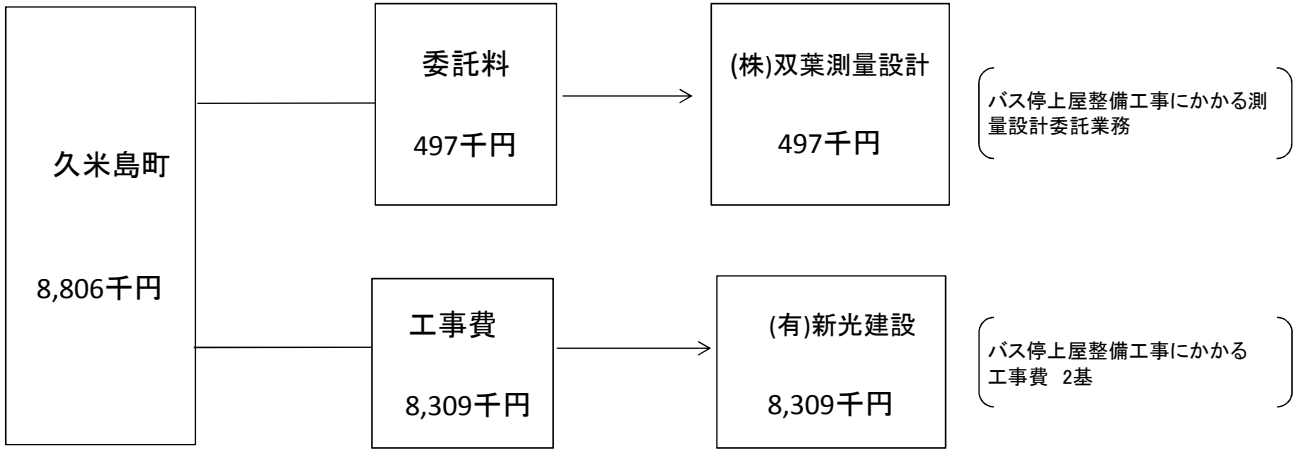
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス停の設置場所は、用地取得及び占用許可等に時間を要するため、利用頻度や設置条件等を考慮し計画的に優先順位を決めて取り組む必要がある。</li> <li>今回整備したバス停上屋は、台風時の風耐圧や強度を重視し、壁無し構造を採用したが、風雨を避けられる構造を検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前にバス停利用者数の頻度を把握し、設置可能な場所の選定、占用許可申請に必要な事務作業を進めておく必要がある。</li> <li>日常的にバスを待っている際には、スクールなど風雨を避けられる3面囲いの構造も必要である。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

H27年度も観光客が快適に利用できるように観光施設周辺に必要な場所を選定し設置する。バス停上屋の選定については、商業地や民家近隣、海辺や畑地周辺など景観にマッチしたバス停上屋を検討する。また、直射日光だけではなく風雨も考慮した構造(3面囲い)で検討して取り組む必要がある。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
8,806	8,806	7,045	1,761	0



資金の 使途の流れ、 費目・ 点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託は少額であったため随意契約で行い、工事請負事業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○台風時を考慮した風耐圧で製品を選定しているため適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 久米島町

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名: 4-④ ビーチクリーナー整備事業
担当部課名: 商工観光課
事業実施(予定)年度: 平成26年度
沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所: 第3章-3-(12)-ア
沖縄振興基本方針該当箇所: III-1-(1)

事業内容: 本町の自然景観を代表し日本の渚百選に選定されているイーブビーチ等の環境美化を促進し観光産業の振興を図るため、ビーチクリーナーを導入する。

実施方法: 直接実施 ( ) 委託 ( ) 補助 ( ) 負担 ( ) その他 ( )

Table with columns for years 26-30 and rows for budget status (a-d), execution amount (A, B), and execution rate (B/A). Includes a note about unused funds of 1,980,000 yen.

Table for activity goals and achievement status. Includes H26 activity goals and a detailed explanation of the beach cleaner introduction in the achievement status section.

Table for achievement goals and progress status. Includes H26 achievement goals for beach cleaner introduction and beach cleaning frequency, with a detailed explanation in the progress status section.

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風通過後においては、高波によりビーチの砂が流されたり、飛散した大小異なる石(死滅珊瑚)がごつごつとむき出しになった状態で作業を行うと埋まっている大きな石はビーチクリーナーで巻き上げることができない。</li> <li>・これらの大きな石は手作業で取り除かなければ故障の原因となる他、作業効率が悪く時間を要することがある。</li> <li>・ビーチの漂着ごみは景観を損うため、定期的な清掃が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーチクリーナーを掛ける前に故障の原因となる大きな石を除去する事により効果的な作業が可能となるため、石を除去する工法を検討する必要がある。</li> <li>・来訪者にはいつでもビーチ本来の姿を満喫してもらうためには年間を通したビーチの保全が必要である。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

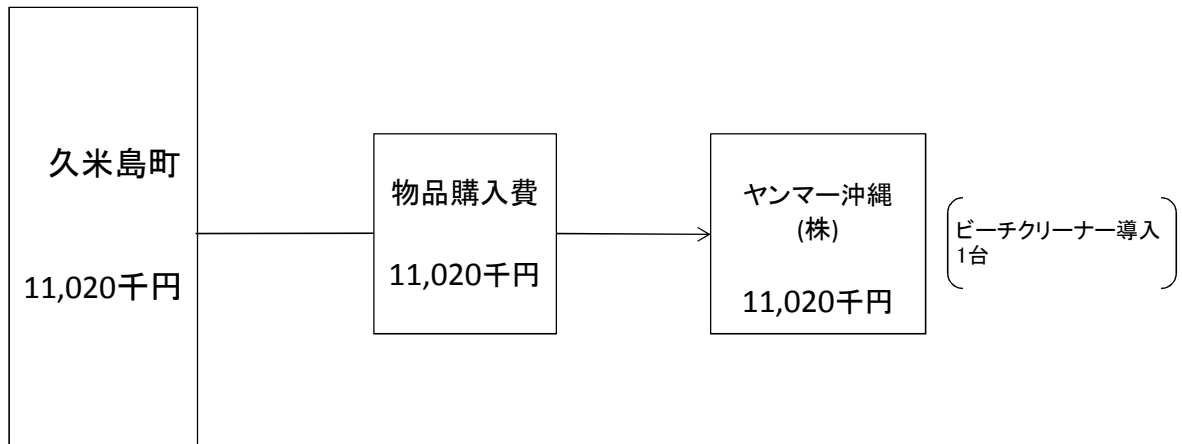
・台風通過後においては、高波によるビーチの不陸、漂着ゴミが多いので、観光地としてのビーチ本来の美しさをすぐ提供できるようビーチクリーナーの稼働を早急に行う。特にオフシーズンにおける海藻漂着の除去、ビーチ清掃等の管理を定期的に行い、ビーチでのイベント、海開きからの夏場のトップシーズンに備える取組を行う。

・イーフビーチは、「日本の渚百選」にも選定されており、来訪者にはいつでもビーチ本来の姿を満喫してもらうためには年間を通したビーチの保全に取り組む。

・ビーチクリーナーで巻き上げることの出来ない大きな石の除去工法を検討し、より効果的な作業を行う必要がある。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
11,020	11,020	8,816	2,204	0



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ビーチ清掃が可能な製品を選定しているため適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑥ Wi-Fiアンテナ設備導入事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	プロジェクト推進室	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	ICTによる観光客の受け入れ態勢の構築、産業観光への取組、安心・安全な街づくりを図るため、全島Wi-Fiシステムを構築した。このシステムを継続活用するためWi-Fiアンテナを購入する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	61,362				
		(b) 予算現額	63,202				
		(c) 増減額 (b-a)	1,840				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計 (b+d)	63,202				
	<b>執行額</b>	B. 執行済額	63,202				
		うち交付金充当額	50,562				
		次年度繰越額	0				
		執行率 (%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	・当初Wi-Fiの設備箇所21箇所の予定だったが、島内エリア充実のため2箇所増設したため備品購入費1,840千円の増となった。 ・当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成目標を鑑みて適正であったと考えられる。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	Wi-Fiアンテナ購入:21基	目標	( 21基 )	( )	( )	( )	
		実績	23基				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	Wi-Fiアクセスポイントを屋外に21箇所整備したが、島民や観光客が人が大勢集まる港等への設置要望があった為2基増設し23箇所設置した。又、メインサーバー等の機器を久米島町役場仲里庁舎へ設置した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	スポットアクセス数:2,000件	目標	( )	( 2,000件 )	( )	( )	( )
		実績		128,933件			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	全島にWi-Fiスポットを設置したことにより、観光客の受入態勢を確立する事ができた。入域観光客が対前年度より106%増になったことや、地域住民がWi-Fiを認知した事もあり、目標値の6倍以上のアクセス数であった。					

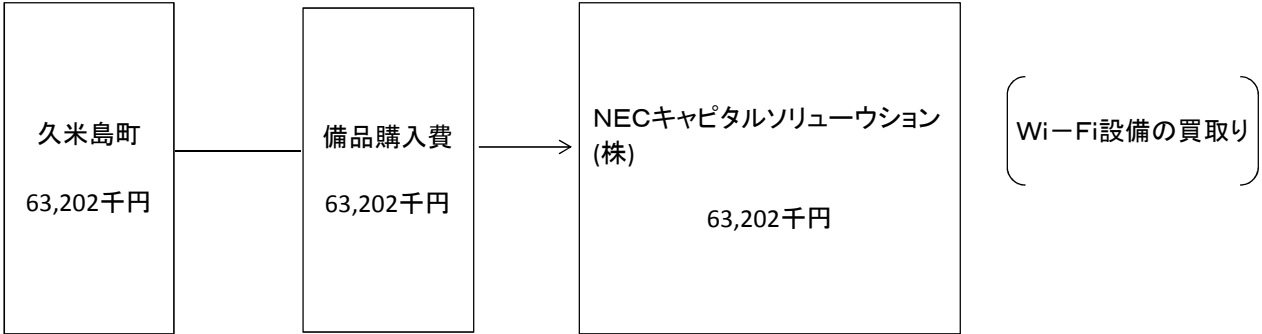
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>全島Wi-Fi事業を実施する事により、観光客の受け入れ態勢を構築し、観光客や地域住民の通信環境の利便性向上を図り、地域活性化へ繋げる事を目的で実施したが、観光客や地域住民等への周知・広報が十分に行き届いていない部分があった。</li> <li>観光客や地域住民より電波が入らない、届かない等の苦情が多数寄せられているため、サービスの向上を目指して改善する必要がある。</li> <li>全国でも数少ない全島Wi-Fi設置は、他県からも注目されており、知名度の向上が図られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全島Wi-Fiの周知を、FM放送や町の広報紙・HPで継続的に広報すると共に、観光協会とも連携しながら、チラシ等をホテルや店舗等に配布する必要がある。</li> <li>今後の観光振興を図る上で必要なツールとなり、外国人観光客を受入れる際にも重要なツールなるため、スポット増設等の整備を行う必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

島内全域にWi-Fiスポットを整備したが、観光客や地域住民への周知が充分でないため、周知・広報を強化する。又、建物や木々に遮られまだ電波が届かない地域がある為、電波調査を行い今後スポットの増設等整備を行う必要がある。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
63,202	63,202	50,562	12,640	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○Wi-Fi機器の購入であるため随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は無く適正な規模であった。 ○費目、使途については、リース物件の買取りとなっており残存価格の買取りである為、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名 久米島町

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-① 赤土等流出防止対策事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-イ
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度 平成24~28年度	陸域・水辺環境の保全
		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-(1)

事業内容 農地保全はもとより観光資源である海岸の保全を図るため、裸地状態の畑へグリーンベルト(ベチパー)の植栽や増殖を行うとともに、排水路に堆積した赤土のしゅんせつ等を実施する。

実施方法  直接実施  委託  補助  負担  その他 ( )

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	3,389	5,694	5,731		
	(b) 予算現額	2,255	5,694	2,742		
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,134	0	▲ 2,989		
	(d) 繰越額	-	-	-		
	A. 計 (b+d)	2,255	5,694	2,742		
	B. 執行済額	2,255	4,592	2,742		
	うち交付金充当額	1,803	3,674	2,193		
	次年度繰越額	0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)	100.0%	80.6%	100.0%		
予算の状況の説明		作業員の募集を行ったが応募が無く、前年度より作業員が1名減となり、人件費分2,989千円を減額補正した。				

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		ベチパーの植栽を行い赤土流出防止を図る。	目標 ( 植栽600m )	( 植栽600m )	( 実施 )
	実績	植栽600m	植栽500m	一部実施	
	目標	( )	( )	( )	( )
	実績				
達成状況説明	グリーンベルト(ベチパー苗)を約300mを植栽した。 ・農業環境コーディネーターと連携し、赤土が流出しやすい畑の調査し、農家への呼びかけ等を行ったが、降雨量が平年より少なく赤土流出も少なかったため、目標を達成することができなかった。農家の流出対策意識が向上しなかったことが考えられる。				

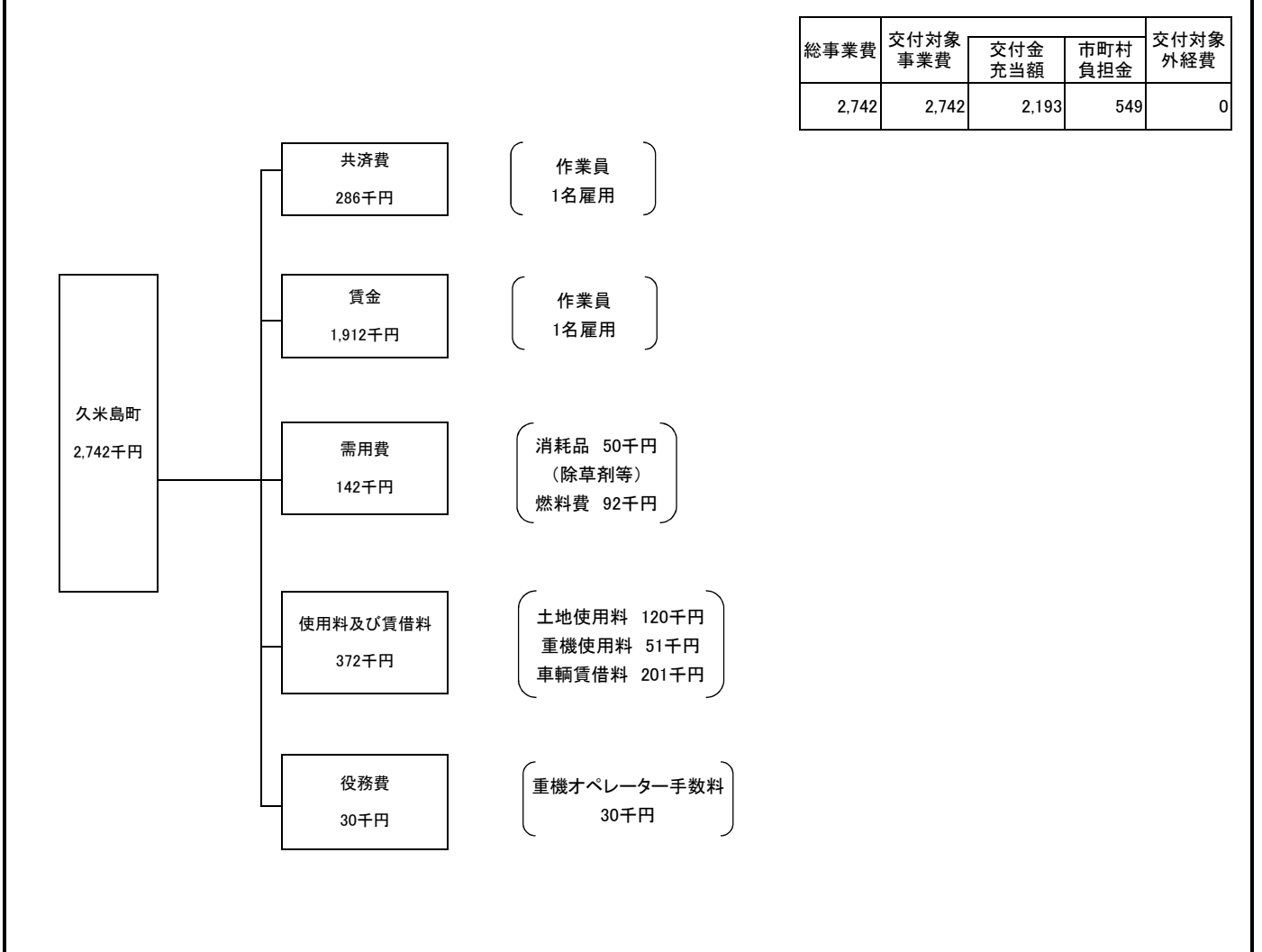
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
		ベチパー植栽:1,000m	目標 ( )	( 植栽6箇所600m )	( 植栽6箇所600m )	( 1,000m )	( )
			実績	植栽6箇所600m	植栽5箇所500m	300m	
			目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
進捗状況説明	26年度は1000mの植栽を目標としていたが、植え付けを希望する農家が少なかったため300mに留まった。苗を希望する農家が少なく、苗の需要が少なかったため、作業員を減らしても対応できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苗床の管理のための作業員の募集を行ったが応募が無く必要人数の確保ができなかった。</li> <li>・農家への推進活動を行ったが、降雨量が少なく実施には至らなかった。</li> <li>・降雨量が少ないこともあり、目標には届かなかったが、実施した300m分については枯れることもなく、降雨後の赤土流出量の減少が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤土流出防止を図るため、ベチバー苗の植付けの必要性和メリットの説明を町広報誌やホームページでの呼びかけや、比較的流出が多い地区の農家への直接的な対策の必要性の説明にもこれまで以上に力を入れることが必要である。</li> <li>・降雨量が少なく目標値には届いてないが、農家の意識は向上しつつあり、今後は苗の需要も多くなることが見込まれるため株分け作業の効率を考慮し、作業員(2名)の確保も必要である。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

農地保全や観光資源である海岸の保全を図るために、ベチバー苗を町民へ供給し赤土の流出を防ぐ必要がある。事業の必要性を町広報誌やホームページ等で発信し、啓蒙活動を強化する必要がある。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れの点 検・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。 ○不用額はないため適正な規模であった。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-② 球美の島エコアイランド化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ア		
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地球温暖化防止対策の推進	
事業内容	低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した島づくりの推進を図るため、町内に設置されている水銀街灯のLED化事業等を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度	
	(a) 当初予算額	73,479	—	38,472	—	32,648	
	(b) 予算現額	73,479	—	35,094	—	35,201	
	(c) 増減額 (b-a)	0	—	▲ 3,378	—	2,553	
	(d) 繰越額	—	66,864	0	6,970	0	
	A. 計 (b+d)	73,479	66,864	35,094	6,970	35,201	
	B. 執行済額	6,615	66,341	28,124	6,970	35,201	
	うち交付金充当額	5,292	53,072	22,499	4,542	28,161	
	次年度繰越額	66,864	0	6,970	—	0	
	執行率 (%) (B/A)	9.0%	99.2%	80.1%	100%	100%	
予算の状況の説明	・LED灯の設置基数を増やすため、工事費2,553千円増額補正し事業効果の早期発現を図った。 ・当初計画していた事業内容をすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
	約230灯のLED防犯灯を整備・設置	目標	( 委託・工事 )	( 委託・工事 )	( 委託・工事 )	( )	
		実績	委託・工事	委託・工事	委託・工事		
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	・平成26年度中に久米島町内の既設水銀灯現況調査・設計を行い、水銀灯約1650本のうち、755灯(・24年度310灯、・25年度241灯、・平成26年度204灯)をLED灯に移行した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	約230灯のLED防犯灯を設置	目標	( )	( 委託・工事 )	( 委託・工事 )	( 230灯 )	( )
		実績		委託・工事	委託・工事	204灯	
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	資材単価及び労務単価高騰による影響で想定した予算内での灯数は設置目標に届かなかったが、消費電力の削減及びCO2の低減が図られた。					

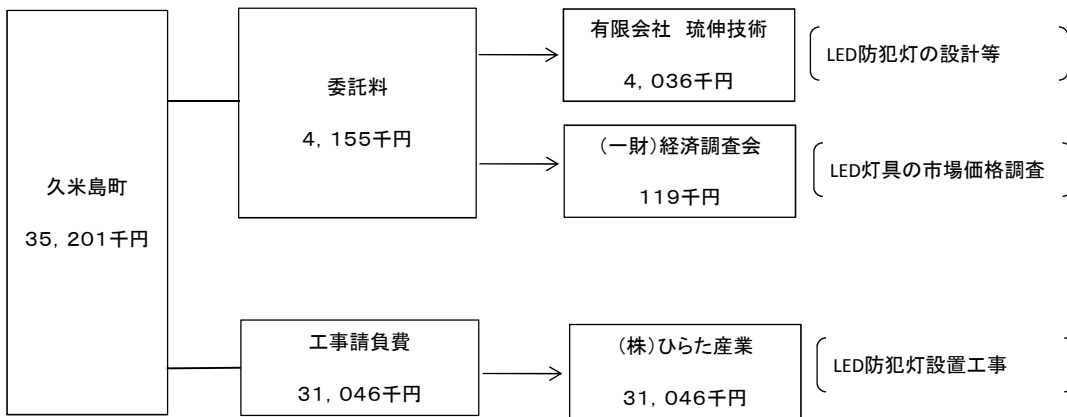
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯灯は設置箇所確定作業に時間を要したが、地域の要望に応えることができた。</li> <li>・受電に係る諸手続等に時間を要するため早期に申請手続きに取り組む必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LED灯への移行を計画的に実施し消費電力の削減及びCO2削減を図る。</li> <li>・防犯灯設置箇所確定作業を円滑に進めるため防犯灯設置予定箇所における現地立会を行う際に、立会者は地区の代表者のみではなく隣接する住宅所有者からの意見も十分に取り入れられるように立会時等には隣接する住人の参加も視野に入れて検討する。</li> <li>・受電を円滑に進めるため諸手続等に係る工程作成、管理などソフト面における取組を徹底する。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・今回の改善余地の検証を踏まえ引き続き防犯灯の水銀灯からLED灯への早期移行を行いCO2削減を推進する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
35,201	35,201	28,161	7,040	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委託事業者及び施工業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</li> <li>○不用額は無く適正な規模であった。</li> <li>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-③ 球美の島緑化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-イ		
	担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24~27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	陸域・水辺環境の保全 III-10-(1)	
事業内容	久米島に自生している花や花木(クメノサクラ、ツツジ、椿、ショウキズイセン等)の保全を図るために、島の在来花木を年中楽しむことができる公園整備を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	56,353	—	50,000	—	35,000
		(b) 予算現額	56,353	—	47,138	—	35,902
		(c) 増減額(b-a)	0	—	▲ 2,862	—	902
		(d) 繰越額	—	44,765	0	28,616	0
		A. 計(b+d)	56,353	44,765	47,138	28,616	35,902
	B. 執行済額		11,588	13,061	18,523	28,538	35,902
	うち交付金充当額		9,270	10,449	14,818	22,830	28,721
	次年度繰越額		44,765	—	28,616	—	0
	執行率(%) (B/A)		20.6%	29.2%	39.3%	100%	100%
予算の状況の説明		・当初予算より902千円増えているが、これは工事箇所の増加によるものである。 ・当初計画していた事業内容をすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	サクラゾーン造成及び植栽工事の実施	目標	( 実施設計 )	( 造成工事 )	( 造成・植栽工事 )	( )	
		実績	実施設計	造成工事	造成・植栽工事		
	ツツジゾーン、ツバキゾーン造成工事の実施	目標	( 実施設計 )	( )	( ツツジゾーン、ツバキゾーン造成工事 )	( )	
		実績	実施設計		ツツジゾーン造成工事		
達成状況説明	サクラゾーンの造成及びクメノサクラの植栽を行った。 ツツジゾーンの造成を行ったが、ツバキゾーンについては地元から他花木植栽の要望があり再検討する必要が生じたため実施できなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
	サクラゾーンの完成及び一部供用開始	目標	( )	( 実施設計 )	( )	( 完成・一部供用 )	( 供用開始 )
		実績		実施設計		完成・一部供用	
	ツツジゾーン、ツバキゾーン造成工事の完了	目標	( )	( )	( )	( ツツジゾーン、ツバキゾーン造成工事完了 )	( 供用開始 )
		実績				ツツジゾーン造成工事完了	
	進捗状況説明	・サクラゾーンにクメノサクラ428本を植栽し、一部供用開始した。 ・ツツジゾーンの造成工事を実施した。 ・ツバキゾーンについては、地元から他花木の植栽の要望があり再検討する必要が生じた為実施できなかったため、早めに花木を選定し造成工事に取り組む。					

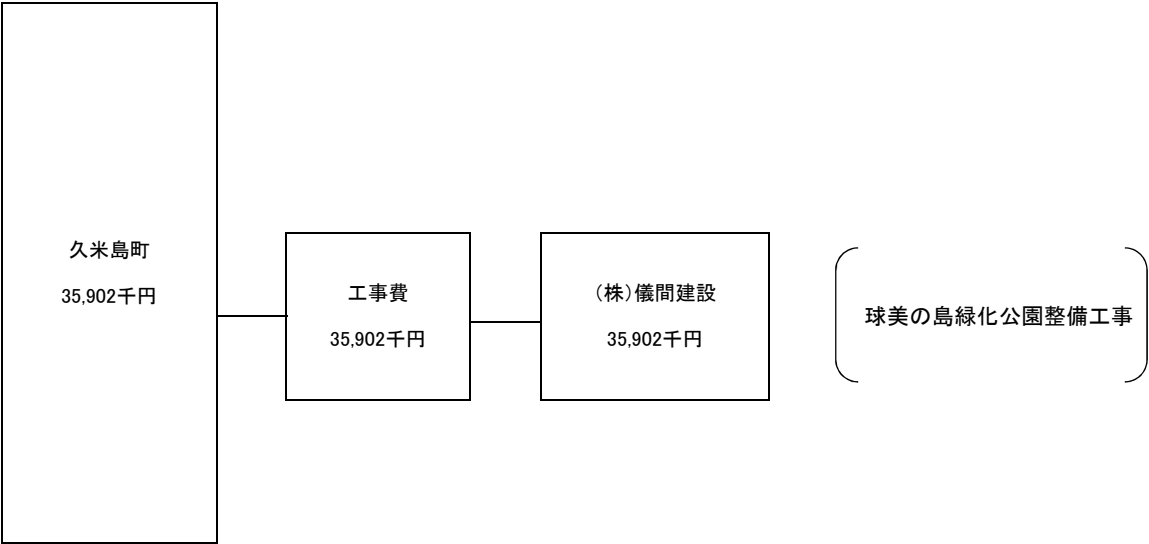
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サクラゾーンにクメノサクラ428本を植栽し、一部供用開始した。</li> <li>・サクラゾーンにクメノサクラを植栽したが、勾配がきついため植栽箇所から赤土の流出がありその対策が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽したクメノサクラの適正管理に努める必要がある。</li> <li>・流出箇所への種子吹きつけなど流出防止対策を行う必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・ツバキゾーンの花木の選定を早めに決定し、造成工事に取り組む。
- ・赤土対策等自然環境に配慮した整備を行う必要がある。
- ・植栽花木の適正管理に努めるとともに、早期全面供用開始に向け取り組む必要がある。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
35,902	35,902	28,721	7,181	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であると考えている。 ○不用額は無く適正な規模であった。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要性等について額の確定時において、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-① 沖縄らしい風景づくり推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(6)-ア		
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度		沖縄振興基本方針該当箇所		
事業内容	本町の優れた景観を次世代に受け継ぎ独自の景観形成を推進するため、行政担当者のスキルアップを図り、町景観条例に基づく景観形成に取り組む団体及び個人が実施する屋根等の外観の景観形成に有効な部分の新設及び改良に要する経費の一部を助成する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,901	4,100	4,700		
		(b) 予算現額	2,720	4,662	2,617		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 181	562	▲ 2,083		
		(d) 繰越額	—		0		
		A. 計 (b+d)	2,720	4,662	2,617		
	B. 執行済額		2,720	4,662	2,616		
	うち交付金充当額		2,175	3,729	2,093		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明		当初予算額よりも2,083千円減っているが、これは執行段階において景観形成助成金の申込件数が1件であったことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	県内研修2回、県外研修2回	目標	( 県内2回 県外1回 )	( 県内2回 県外2回 )	( )	( )	
		実績	県内2回 県外1回×2名	県内4回 県外1回×2名			
	景観活動団体助成2団体	目標	( 5団体 )	( 2団体 )	( )	( )	
		実績	2団体	2団体			
景観形成助成2戸	目標	( 2戸 )	( 2戸 )	( )	( )		
	実績	2戸	1戸				
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内・県外研修として、沖縄県が主催する「景観コーディネーター研修会及び現地研修会」に参加し、景観行政担当者として景観行政遂行に必要な地域住民との合意形成に関する事例、知識等の取得や歴史的景観保全地区の先進地の取組み状況について、研鑽を深めた。当初研修回数を1名×2回と予定していたが、研修日程と担当の業務スケジュールがあわず、2名×1回とした。</li> <li>・景観活動助成は、募集期間内に申込みのあった町景観づくり活動団体に登録された緑化推進活動を実施した2団体に対し助成金を交付した。</li> <li>・景観形成助成として、景観重点地区において、赤瓦屋根葺き替えを行う2戸に対する助成を予定していたが、募集期間内に申込みのあった1戸に対し助成金を交付した。</li> </ul>					
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	行政担当者の育成	目標	( )	( 県内研修2回 県外研修1回 )	( 実施 )	( )	( )
		実績		県内2回 県外1回×2名	県内研修4回 県外研修1回×2名		
	景観活動団体の育成	目標	( )	( 5団体助成 )	( 実施 )	( )	( )
		実績		2団体助成	2団体		
	景観形成の推進	目標	( )	( 2戸助成 )	( 実施 )	( )	( )
実績			2戸助成	1戸			
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修については、沖縄県が主催する研修へ参加し、景観行政業務遂行に必要な知識等の取得や先進地の取組状況について研鑽を深め、目標を達成することができた。</li> <li>・景観活動団体助成については、町広報誌、FMでの広報や地域で自主的な活動をしている団体について情報収集や意見交換を行い、申請のあった2団体に対し助成を行い目標を達成することができた。</li> <li>・景観形成については、町広報誌、FMでの広報や重点地区を対象に瓦葺き替えを予定している家屋について情報収集を行い、真謝地区からの申請のあった1戸に対して助成をおこなった。目標2戸を達成していないので、今後、制度や実施した活動等の広報周知を多くし、助成戸数を増やしたい。</li> </ul>					

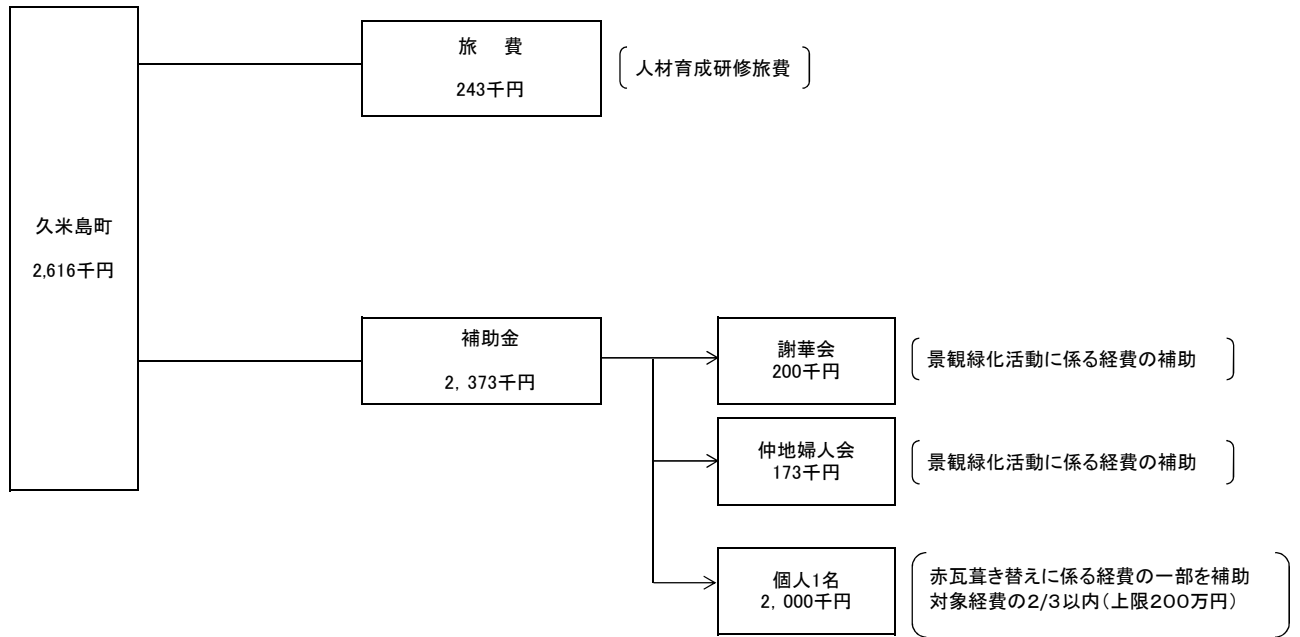
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成制度について、町民がもっと関心をもらえるような周知方法(広報誌、ホームページ等への掲載)の創意工夫が必要である。</li> <li>・瓦葺き替えは家屋改修時に行われるため、対象地区の木造家屋世帯への助成制度活用の周知を強化する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条例・助成制度について町民へより理解してもらえるよう、町内の活動団体等との情報交換を幅広く行い、新たな活動団体の掘り起こしを行う。</li> <li>・瓦葺き替え助成については、建築関係事業所に助成制度の説明に努め、沖縄らしい風景である赤瓦木造家屋の保存を図る必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・町内の活動団体へこれまでの活動団体助成へのこれまでの実績、今後の町としての取組み状況、景観計画について認識していただき、町の景観活動登録団体を増やす取り組みが必要である。
- ・沖縄らしい風景である赤瓦木造家屋の保存を図るため、助成制度の周知に取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,616	2,616	2,093	523	0



資金の流し、費用	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、費用	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金の交付先については、交付要綱の要件に基づくものであり、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は無く適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○赤瓦葺き替え助成の受益者は総事業費の1/3以上を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用、使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において、支出等に関する書類により確認、適正であった。



市町村名		久米島町					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-② 個性豊かな文化の振興事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-イ		
	担当部課名	教育委員会			事業実施 (予定)年度	文化の担い手の育成	
		平成24~33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(2)			
事業内容	伝統芸能の保存及び後継者育成を推進し地域伝統文化の振興を図るため、文化振興の活動を行なっている団体の行う保存継承イベント開催を支援する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	4,255	3,908	1,717		
		(b) 予算現額	3,101	3,908	1,717		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,154	0	0		
		(d) 繰越額	-	-	0		
		A. 計 (b+d)	3,101	3,908	1,717		
	B. 執行済額		3,101	3,468	1,205		
	うち交付金充当額		2,480	2,775	964		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	88.7%	70.2%		
予算の状況の説明		・不用額512千円は、事業費見直しによる補助金の減額である。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	民俗芸能の保存・継承・後継者育成	目標	( 3団体 )	( 3団体 )	( 実施 )	( )	
		実績	6団体	3団体	3団体		
	民俗芸能発表会の開催	目標	( 1回開催 )	( 1回開催 )	( 実施 )	( )	
		実績	1回開催	1回開催	1回開催		
	民俗芸能団体の派遣	目標	( - )	( 1団体 )	( 実施 )	( )	
		実績	-	9団体	3団体		
達成状況説明		・民俗芸能の保存・継承・後継者育成に取り組む団体へ補助を行った。 ・発表会までに新たな3団体を掘りおこしを行うとともに、保存継承育成、発表会の開催及び団体派遣を行い目標を達成した。 ・派遣は1団体を予定していたが、舞台発表の場を確保し人材育成を図るため3団体派遣した。					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (33年度)
	3団体(具志川、大田、真謝)の強化	目標	( 3団体 )	( 3団体 )	( 3団体 )	( 3団体 )	( 3団体 )
		実績		6団体	3団体	3団体	
	出演者130名、来場者600名	目標	( 130人 550人 )	( 130人 550人 )	( 130人 600人 )	( 130人 600人 )	( 150人 700人 )
		実績		130人 600人	143人 400人	117人 200人	
	団体の島外派遣(兼城)24名	目標	( - )	( - )	( 25名 )	( 24名 )	( 25名 )
		実績		-	149名	21名	
	進捗状況説明		・平成26年11月29日(土)、具志川改善センターにおいて、第4回久米島民俗芸能発表会を開催した。 ・出場者は117名で来場者は約200名で目標を達成できなかった。目標を下回った要因としては、周知・宣伝不足があげられる。 ・例年より広報する期間が短くなった。また、町民の民俗芸能に関する興味・関心が薄れてきている。 ・団体の島外派遣については21名で目標数値には届かなかった。目標を下回った要因としては、当初1団体(24名)の派遣としていたが、人材育成を図る目的で3団体に変更し、派遣団体の演目の関係上、出演者数(派遣人数)が21名となった。				

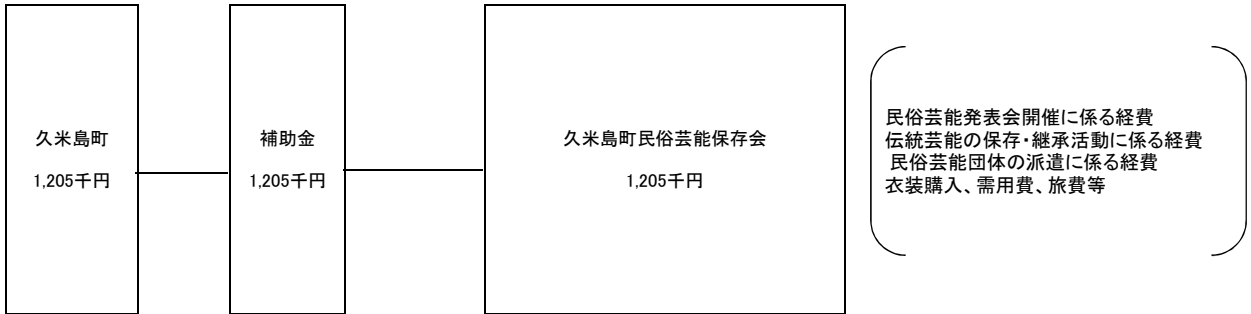
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表会において、周知・宣伝不足(広報する期間が短い)により、来場者が前年度に比べ大幅に減少した。</li> <li>伝統芸能の充実・強化を図るためには、担い手の高齢化や島民(特に若年層～中年層)の人口減少が課題である。</li> <li>町民等が伝統芸能に触れる機会が減少し、興味・関心が薄れている現状にあるため、その対策が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統芸能の保存・継承及び地域の活性化に寄与するためには、担い手にとっては発表の場、町民や観光客等には伝統芸能に触れる場となるイベント開催の充実を図るとともに、魅力あるプログラム構成を検討する必要がある。</li> <li>誰でも気軽に参加できるイベントになるよう、メディアの活用、関連団体との連携・働きかけをしていく必要がある。</li> <li>若年層の担い手が少ない状況も、町民の伝統芸能への興味・関心が薄れているのに繋がっている。そのため、団体(地域)が掘りおこしの完了をしたあとの後継者育成までの体制づくりが必要である。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・事務局体制を強化し、プログラム内容について再度、見直しを行いどの世代でも興味を持てるプログラムを再検討する。
- ・観光協会や関係機関と連携を図り、観光客等が伝統芸能に触れられる機会(小規模イベント等への出演)を創出し将来的には観光産業として活用する。
- ・誰でも参加しやすいイベントになるよう関係機関との連携を強める。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,205	1,205	964	241	0



資金の流 れの流 れ、費 目、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は芸能関係者によって組織され、実績、知識等を助案した上で選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は、事業内容見直しによる減であり適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 久米島町

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名: 6-③ 文化遺産保存活用事業
沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所: 第3章-1-(4)-ア
沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
担当部署名: 久米島博物館
事業実施(予定)年度: 平成24~33年度
沖縄振興基本方針該当箇所: III-3-(2)

事業内容: 豊かな自然とともに、数多く残されている地域色豊かな歴史文化等の文化遺産を活かした観光振興を図るため古文書(博物館資料)の修復及び貴重生物のはく製の制作を行う。

実施方法: 直接実施 委託 補助 負担 その他

Table with columns: 24年度, 25年度, 25年度(繰越), 26年度, 27年度. Rows include: (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額(b-a), (d)繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%)(B/A). Includes a note on budget status.

Table for activity goals and achievement status. Columns: H26活動目標(指標), 26年度, 27年度, 28年度, 29年度. Rows: 古文書の修復、翻刻、口語訳した件数:110件, 鳥類剥製資料制作 50体. Includes a note on achievement status.

Table for achievement goals and progress status. Columns: H26成果目標(指標), 基準値(年度), 26年度, 27年度, 28年度, 目標値(33年度). Rows: 古文書の修復、翻刻、口語訳した割合14%, 鳥類剥製資料制作 50体. Includes a note on progress status.

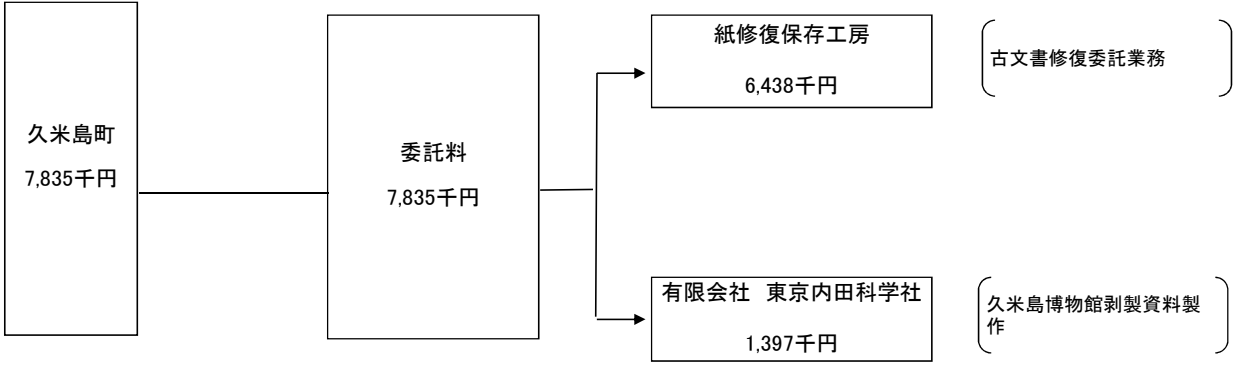
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定より劣化の著しい古文書資料の修復に時間を要する場合は想定し、事業の早期執行に努めるとともに履行期間に余裕をもつ必要がある。</li> <li>・整備した資料を多くの観光客や町民に公開する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より効率的に事業を推進するため、修復計画を策定する必要がある。</li> <li>・整備した資料を多くの観光客や町民に公開し、情報を発信するため、展示方法や企画展の開催を検討する必要がある。</li> <li>・古文書の翻刻・口語訳の解析で得られた知見を広く町民に分かり易く発信するため、講演会・市民講座等の開催できるよう努める。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・これまで以上に事前準備に務め、より早期に事業執行できるよう実施計画を立てる必要がある。また、成果品については、適正な保存・管理に努めつつ、展示会や学術利用に寄与するなど利活用を図って行く。  
 ・製作した剥製資料は久米島博物館において企画展「久米島の野鳥展」を開催し(H27.4.24～5.17)で多くの観光客、町民に観覧(期間中見学者497人)していただき好評を得たので、今後も愛鳥週間等における企画展開催に取り組む。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
7,835	7,835	6,268	1,567	0



資金の流 れ、費 用目 録	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託は特殊な業務内容であったため随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を勘察した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額はないため適正な規模であった。 ○費目、用途については目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-④ 久米島現代版組踊り創作事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24~28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活用したまちづくり		
事業内容	若い世代の地域づくりへの積極的な参画を促進し魅力ある観光地形成を図るため、久米島の歴史的遺産にスポットをあてた創作現代版組踊りを実演する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	(a)当初予算額	2,088	—	7,989	6,639		
	(b)予算現額	2,088	—	9,290	6,639		
	(c)増減額(b-a)	0	—	1,301	0		
	(d)繰越額	—	2,088	0	0		
	A.計(b+d)	2,088	2,088	9,290	6,639		
	B.執行済額	0	2,016	9,290	6,638		
	うち交付金充当額	0	1,612	7,432	5,310		
	次年度繰越額	2,088	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	0.0%	96.6%	100.0%	100%		
予算の状況の説明	・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H26活動目標(指標)	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
	若い世代による創作現代版の組踊り作成40名~50名参加	目標	( 脚本製作 )	( 公演実施 )	( 40から50名参加 )	( )	
		実績	脚本製作	公演実施	41名		
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	・高校生、中学生計41名で2月に昼・夜2回の公演を開催した。 ・41名中高校生が組踊りに取り組んだことにより目標を達成することができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	ふるさとの歴史や文化を地域の人々が再発見し、その誇りと魅力を自発的に発信していく新たな歴史的文化的観光資源を創出する。	目標	( )	( 脚本製作 )	( 出演者30名 )	( 観光資源の創出 )	( )
		実績		脚本製作	出演者40名	観光資源の創出	
	【参考指標】 現代版組踊公演来場者数	目標	( )	( )	( 観客300名 )	( 観客800名 )	( )
		実績			観客800名	観客810名	
	進捗状況説明	・久米島の中高校生41名によって、久米島の歴史的遺産にスポットをあてた創作現代版組踊りを公演した。 ・久米島の歴史的按司の「笠末若茶良」を題材に取り組んだ現代版組踊りは、町民等810名が観覧し高い評価を得た。 ・「久米島まつり」や「久米島マラソン」「車エビフェスタ」等の島外からの参加者(観光客)が多数訪れる催しにも出演依頼を受け、ダンス等を披露し、地域(島)の歴史的文化的発信することができ、観光資源の創出は達成することはできたが、観光の商品化としての確立には至っていない。					

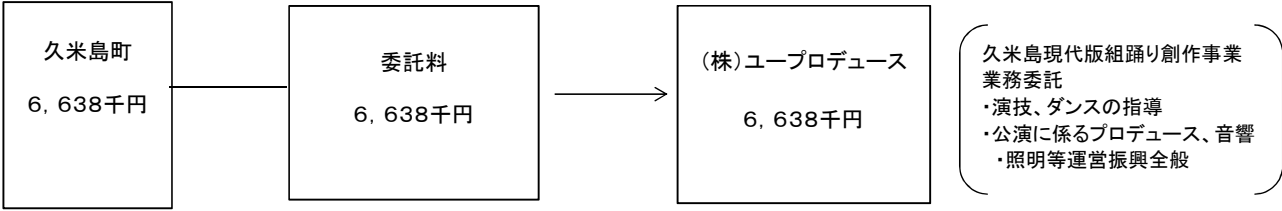
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①事業として取り組んでいる「久米島現代版組踊り」は、本町の歴史を紐解き、史実化した舞台公演で、地元中高生が出演・参加しているが、高校生が卒業と同時に進学・就職で島を離れる地域事情から、取組の継続・展開に際し、メンバーの変動がある。 ②公演で高評を得た成果として、地域外(沖縄本島や県外)での公演を望む声が、本町出身の郷友会の方々を中心に寄せられるようになったが、費用(予算)の問題や通年公演を行える状況にない等の課題がある。	①出演対象である中高生(中学1年～高校3年生)のメンバー構成が偏らないように、毎年満遍(各学年一定人数)なくメンバーを確保し、取組(活動)が円滑に継続・展開出来るように努める。 ②活動を運営・支援する地域組織を立ち上げ、活動費用の捻出や安定した舞台公演が実現できるような環境整備に取り組む必要がある。

**今後の取り組み方針**

・取組の検証で掲げたメンバー確保の改善や運営組織の立ち上げの展開を推進・強化し、文化観光資源としての実現・確立に向け取り組んでいく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
6,638	6,638	5,310	1,328	0



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託は特殊な業務内容であったため随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を勘察した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は無く適正な規模であった。 ○費目、使途については目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-① 英語指導員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	小学校における外国語活動及び国際理解教育を充実させるために英語指導員を配置する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,483	2,482	2,568		
		(b) 予算現額	1,293	2,482	2,120		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 190	0	▲ 448		
		(d) 繰越額	—		0		
	A. 計 (b+d)		1,293	2,482	2,120		
	B. 執行済額		1,293	2,095	2,119		
	うち交付金充当額		1,033	1,676	1,695		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	84.4%	100.0%		
予算の状況の説明		・報酬は指導員経験年数で決定するため、当初予算で計上した指導員より経験年数の浅い指導員を採用したことにより報酬及び共済費448千円を減額補正した。 ・当初計画していた事業内容はすべて実施した、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	英語指導員配置数:小学校1名 小学校3年生から6年生(3、4年生120時間、5、6年生210時間)で実施する。		目標 (小学校1名)	(小学校1名)	(小学校1名)	( )	
			実績	小学校1名	小学校1名	小学校1名	
			目標 ( )	( )	( )	( )	
			実績				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置時間数:3~4年生(120時間)5~6年生(210時間)目標時間を達成できた。</li> <li>・小学3~4年生に対しては、歌やダンス等で英語の楽しさを伝えることができた。</li> <li>・小学5~6年生に対しては、歌やゲーム、グループワーク等の指導形態で簡単な挨拶等ができるようになった。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	英語指導員の配置 小学校:1名 町内全6小学校の児童が英語を活用してコミュニケーション力を図る。		目標 ( )	(小学校1名)	(120時間)	(コミュニケーション力の向上)	( )
			実績	小学校1名	120時間	コミュニケーション力の向上	
			目標 ( )	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学年においては英語を活用した歌、ダンスに合わせて単語やセンテンスを体(リズム)を覚えさせることができた。また、インタビュー形式で会話を重ねるゲームを楽しみながら行うことができた。</li> <li>・高学年においては英語を活用したコミュニケーション(発表・対話・交流)を中心に英語をツールとして児童同士の関わりを深めることができた。</li> <li>・担任の外国語活動の指導に関するスキルアップを図ることができた。</li> <li>・ゲーム形式で楽しみながらコミュニケーション力が向上する取り組みを行ったため、目標は達成したと考える。</li> </ul>					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校高学年を対象とし、発達の段階に応じた歌やゲーム、簡単な挨拶やスキットなど、音声を中心とした体験的な活動を工夫する必要がある。</li> <li>・小学校低学年からコミュニケーションの手段としての外国語(英語)に慣れ親しませ、外国語(英語)を用いて、コミュニケーションを図る楽しさを教える必要がある。</li> <li>・小学校から中学校への移行に伴う外国語活動のスムーズな接続が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・失敗や間違えた事を気にしないで、積極的に授業に参加できるようリスニングを検討する。</li> <li>・低学年における英語を活用した授業実践に向け、時間割を調整し実施を検討する。</li> <li>・中学校の外国語教諭及び町ALTと連携しコミュニケーション能力の育成を充実させるよう検討する。</li> </ul>

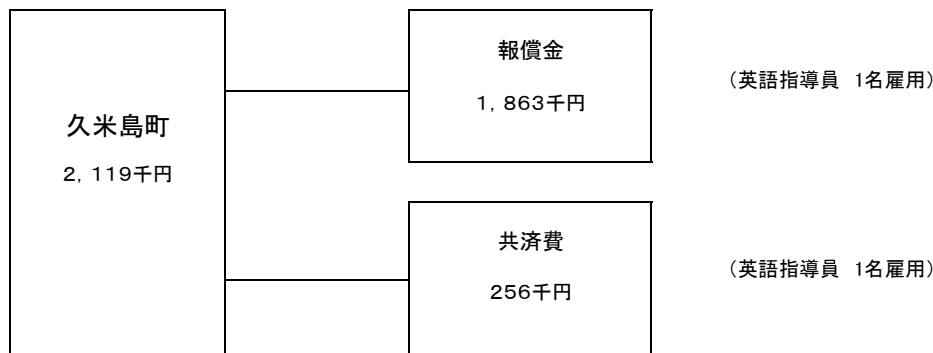
### 今後の取り組み方針

- ・担任教諭と指導方法の研究や教材作成等に係る校内研修を行い、さらなる授業改善に努める。
- ・グループワーク等の指導形態及び指導方法の工夫・改善を積極的に行い、英語によるコミュニケーション能力の基礎を身につける。

### 資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,119	2,119	1,695	424	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先及び予算規模については、設置規程に基づくものであり妥当であったと考える。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名	久米島町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-② 基礎学力向上学習支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	確かな学力を身につける教育の推進を図るため、学習未定着率の高い小学校へ補助指導員を配置し、国語・算数を中心とした基礎学力向上支援を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	(a) 当初予算額	6,242					
	(b) 予算現額	3,052					
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,190					
	(d) 繰越額	0					
	A. 計 (b+d)	3,052					
	B. 執行済額	3,051					
	うち交付金充当額	2,441					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	・当初、小学校2校に学習支援員を配置したが、1校については学習支援員の確保が難しく、2学期からの配置となったため、報償費及び共済費3,190千円を減額した。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H26活動目標(指標)	達成状況					
		26年度	27年度	28年度	29年度		
	基礎学力向上学習支援員配置数: 小学校2校に各1名。	目標	( 2名配置 )	( )	( )	( )	
		実績	2名配置(1名は2学期から)				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	・学習支援員の募集を行うが教員免許保持者が島内には少ないため、学習支援員の確保が難しく、1校は2学期からの配置となった。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
	基礎学力向上学習支援員を小学校へ2名配置し、県到達度調査や全国学力学習状況調査等、正答率30%未満の児童生徒の数を減少させる。	目標	( )	( 実施 )	( )	( )	( )
		実績		小3-6.6% 小5-3.7%			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	・TT形式で小学校の国語・算数を中心に特に落ち込みのある児童生徒へ学習支援を行うことができた。 ・全国学力状況調査において小学校が県平均を3.4%上回る。 ・小3の30%未満の割合は目標5%だったが、実績6.6%となり、目標を達成することが出来なかった。原因として算数問題が難しかったことが考えられ、県の平均正答率も前年を下回っている。					

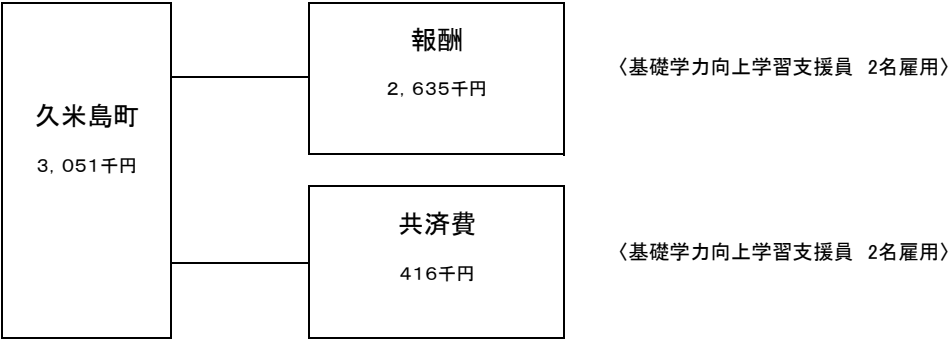
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校低学年から家庭学習等の自主学習の定着を図る必要がある。</li> <li>・各学年の基礎的事項が定着できるようアシストシート等を活用して習熟を図る必要がある。</li> <li>・国語や算数で落ち込みが見られるため、改善の必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級担任と連携・協力しながら少人数指導等の実施を検討する。</li> <li>・各学年の落ち込みの見られる領域を分析し、学級担任と連携し授業改善に取り組む。また、学習の定着が不十分な児童に対し、繰り返し学習や補習を検討する。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・担任教諭と基礎学力向上学習支援員のミーティング時間を確保し、各学年の発達段階に応じた授業改善に努める。  
 ・目的に応じ、必要な情報を整理・分析し、自分の考えをまとめて書いたり話したりする指導の工夫。(言語活動の充実)

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,051	3,051	2,441	610	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先及び予算規模については、設置規程に基づくものであり妥当であったと考える。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-③ 特別支援教育支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進		
事業内容	特別に支援を要する児童に対し個別指導や放課後の補習、介助や安全確保等教師と連携した支援体制の充実を図るため、特別支援員を各学校へ派遣する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	(a) 当初予算額	26,797					
	(b) 予算現額	24,117					
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,680					
	(d) 繰越額	0					
	A. 計 (b+d)	24,117					
	B. 執行済額	24,116					
	うち交付金充当額	19,293					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	・当初、教員免許保持者の単価で予定していたが、免許保持者の応募が少ないため、報償費及び共済費を2,680千円を減額した。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H26活動目標(指標)	達成状況					
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	特別支援教育支援員配置数:小学校10名、中学校2名	目標	( 小学校10名 中学校2名 )	( )	( )	( )	
		実績	小学校10名 中学校2名				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	・特別支援教育支援員の募集については、全世帯へのチラシの配布や町ホームページへの掲載により募集を行い、小学校へ10名、中学校へ2名の特別支援教育支援員を配置することができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
	児童生徒の総合的な学力向上に繋げる。県到達度調査や全国学力学習状況調査等、正答率30%未満の児童生徒の数を減少させる。	目標	( )	( 正答率30%未満の児童生徒 ) の減少	( )	( )	( )
		実績		小学生:8.5%→5.1% 中学生:20%→19.4%			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	・TT形式で小学校の国語・算数を中心に特に落ち込みのある児童生徒へ学習支援を行うことができた。 ・学習活動中の声掛けや個別指導等の支援により、小学生及び中学校とも目標を達成することができた。					

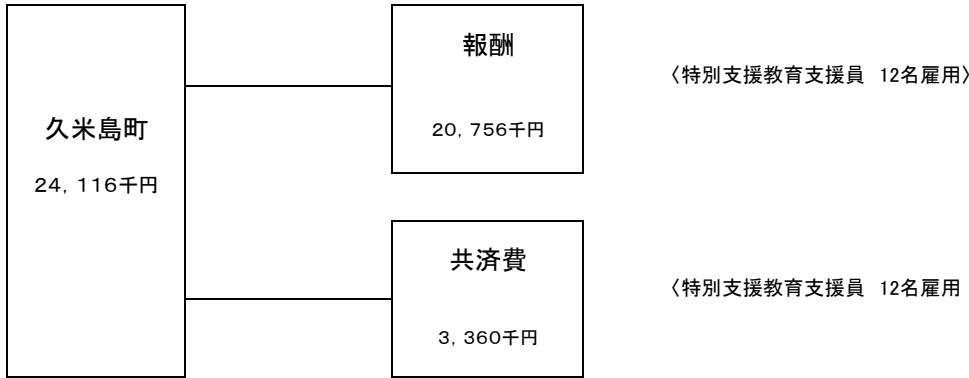
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中離席をしたり、奇声をあげたりする児童がいて他の児童の授業の妨げになることがある。</li> <li>一斉授業では、支援員が側に着いていないと板書や課題に取り組めない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者、学校、特別支援教育支援員が連携を取り合い、児童生徒に対する支援方法を協議し、児童生徒にあった支援体制を構築していく必要がある。</li> <li>スクールカウンセラーと連携し児童生徒にあった指導方法を検討する。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・担任と特別支援教育支援員が連携を密にし、授業改善(内容・基礎力徹底等)に努める。
- ・特別支援教育支援員の資質の向上を図る目的で、研修会等を回数、内容を充実し実施する。
- ・各学校の特別支援教育支援員が指導のあり方について、情報を提供できる研修会を実施する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
24,116	24,116	19,293	4,823	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先及び予算規模については、設置規程に基づくものであり妥当であったと考える。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	